

No. 79 >>> Contents

「カイコを育てよう！ 2023」に取り組んで

ー全国蚕糸関係博物館横断キャンペーンー

.....「カイコを育てよう！ 2023」実行委員会———— ①

●トピックス

「カイコを育てよう！ 2023」キャンペーンに参加して

.....長野県駒ヶ根市 駒ヶ根シルクミュージアム 館長 伴野 豊———— ②

「津幡高校産「玉小石」を使用した牛首紬の制作」

～石川県立津幡高等学校 100 周年養蚕復活プロジェクト～

.....石川県立津幡高等学校 教諭 大丸孝斉———— ④

ジャパンシルクセンターの現況

.....一般財団法人大日本蚕糸会 ジャパンシルクセンター———— ⑦

●海外情報

群馬県蚕糸業による国際貢献の可能性とベトナム視察

.....碓氷製糸株式会社 代表取締役常務 土屋真志———— ⑧

●蚕糸・絹業団体情報

「繭と糸の会」の紹介 繭と糸の会 事務局長 鈴木繁實———— ⑩

●蚕糸偉人の足跡を訪ねる

第6回「益田 孝」

... (一財) 大日本蚕糸会 蚕糸科学技術研究所 元客員研究員 清水重人———— ⑫

●イベント情報 ————— ⑮

●一般財団法人大日本蚕糸会から

2023 年度第 2 次分の純国産絹マーク使用許諾状況 ————— ⑮

純国産絹マーク使用許諾者及び絹製品名一覧 ————— ⑮

活動日誌 ————— ⑮

●蚕糸絹関係博物館一覧 ————— ⑮

●蚕糸絹関係機関ホームページ一覧 ————— ⑮

●統計資料（統計資料の詳細は統計資料目次をご覧ください。） ————— ⑮

「カイコを育てよう！ 2023」に取り組んで

ー全国蚕糸関係博物館横断キャンペーンー

「カイコを育てよう！ 2023」実行委員会

各地の博物館では、地域の特色を活かした博物館展示、催事が行われています。特に夏休みを中心に「カイコの飼育体験」が開催されてきました。こうした活動を統一的、横断的に紹介し、蚕糸業の現状を知ってもらうとともにこれからの蚕糸業を考えようと昨年に続き、「全国蚕糸関係博物館横断キャンペーン」を実施しましたので、その概要について報告します。

今回参加した機関は、以下の7施設でした。ポスター・チラシ・HPで広報活動を行うこととしました。また、グッズとして参加機関のキャラクター7体の集合シールを作成し、配布しました。カイコの飼育に挑戦した方は約600名で、感想付きのプレゼント応募者も多く、抽選の上商品発送を行いました。

多くの方に蚕糸に関心を持っていただくきっかけとなり、今後に繋がるものと期待しています。



参加施設（博物館）・行事名

参加施設名	参加行事名
群馬県立日本絹の里	学ぼうカイコ
シルク博物館	夏の個人向け蚕種配布
駒ヶ根シルクミュージアム	今年の夏はおうちでカイコ
岡谷蚕糸博物館 ーシルクファクトおかやー	夏・秋カイコ学習 わくわくシルクサマーセミナー
西予市野村シルク博物館	カイコを育てよう！ 2023
野外博物館 北海道開拓の村	カイコを育てて自由研究を楽しもう！
ジャパンシルクセンター	カイコと友だちになろう！

「カイコを育てよう！ 2023」キャンペーンに参加して

長野県駒ヶ根市

駒ヶ根シルクミュージアム

館長 伴野 豊

1、大養蚕地帯であった伊那谷^{いなだに}に立地する当館

駒ヶ根シルクミュージアムは、平成 14 年（2002 年）4 月に開館しました。駒ヶ根市は長野県内でも養蚕が盛んであった伊那谷にあり、1997 年まで、市内を中心に生産された繭を使い、組合製糸「^{りゅうすいしゃ}龍水社」で生糸作りが行われていました。龍水社は地元の農家が出資し設立され、地元の暮らしや経済活動と深く関わり、その操業停止は惜しまれました。こうした背景から、本館では同社の活動の記録や伊那谷の養蚕、暮らしを紹介すると共に、カイコ、絹に関する総合的な展示を行なっています。生きたカイコの展示、30 倍の大きさの巨大なカイコ模型や、映像によるカイコの紹介を行なっています。繭のクラフト作成体験、コースター、ランチョンマットなどの織の体験、絹地を中心とした染め体験のコーナーも好評です。ミュージアムの玄関先からは、中央アルプスの雄大な景色が眺められ、観光にも人気のスポットになっています。

2、本キャンペーンの取り組み

小学生の皆さんに本企画を呼びかけると共にかつて養蚕・製糸業が盛んであった本地域の特色を活かし、シニア世代にも参加を呼びかけることにしました。また、コロ



事前の宣伝活動

ナ禍も意識し、「今年の夏はおうちでカイコ」をキャッチフレーズに取り組みました。

・宣伝活動（6 月中旬から）

事務局を中心に用意していただいた全国共通のポスターを市内や隣接する市町村の小学校、公民館へ配布すると共に、独自の案内文を作成し、配布しました。案内文には、「夏休みの自由研究や繭の工作で宿題もできますよ。」「大人の方も、懐かしいカイコ飼育体験しませんか？」などの文言を入れました。

・卵、幼虫、桑を配布（7 月 28 日～8 月 1 日）

昨年は卵のみの配布としましたが、1 蛾分の掃立ては頭数が多く、途中で飼育が困難となりミュージアムに飼育を依頼されるケースや、病蚕が多発するなどの事例が見られました。そこで、今年は卵での配布を 15 粒にすると共に、難しい稚蚕期は当館

で飼育し、4 齢蚕児を 10 頭配布し、飼育する 2 パターンとしました。また、桑葉の無い方からの希望に応えるために桑の葉の配布も行いました。卵と幼虫は無償としましたが、桑葉については 1 キロ 1000 円の実費徴収としました。

・カイコ飼育講座の実施

(7 月 28 日～8 月 1 日)

配布を予定した 5 日間、飼育マニュアルのポイントについてプリントをもとに館内で、10 時から 30 分間の講習会を開催しました。

3、参加状況

卵、幼虫をそれぞれ 50 セット用意したところ、卵の希望者 18 名、幼虫の希望者が 34 名で、両者を希望する方もいたので、応募者は 46 名でした。昨年は正確に記録を取っていなかったのですが、応募者は昨年を大幅に上回りました。応募者を地域別にみると市内が 13 名、北に隣接する上伊那地方が 18 名、南に隣接する下伊那郡が 4 名でした。愛知県からも 4 名の応募がありました。東京都、静岡県、熊本県からも各 1 名が当館まで足を運んでくれました。夏休みという利点を生かし、旅行や帰省を兼ねた応募者もあったようでした。4 分の 1 程にあたる 11 名の方は桑葉を購入され

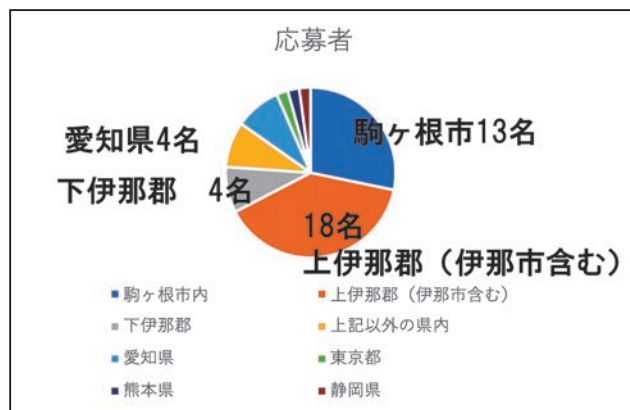


カイコの飼育説明会

ました。配布した幼虫の発育は概ね良好のようでしたが（電話にて数名に聞き取り調査を実施）、ほぼ全滅死する事例も 1 件ありました。その事例は市内の方で、直接弱った蚕児を持ち込んで来られましたが、農薬による被害のようでした。ウイルス病など伝染性の強い病気であると館内で飼育するカイコへの影響も懸念されるので、次年度からは弱ったカイコの持ち込みによる相談については遠慮願う通知を配布時に行う必要性を感じました。

4、次回への課題

飼育に関する講習会を配布日（5 日間）の毎日、10 時から 10 時半と設定しましたので、その時間帯に受取りに見えると想定しましたが、講習時間以外に訪れる方が大半で、受付業務が長時間になり、通常業務と重なるケースが見られました。次年度以降は受け取り時間帯を設定し、実施する方向が良さそうです。宣伝活動は HP と共に、駒ヶ根市内と上伊那郡を中心にポスター配布によりました。南に隣接する飯田市、下伊那郡内へは限定した配布としました。距離的には同程度であるので、次年度は下伊那郡内への宣伝活動を強化することで応募者の拡大を図る予定です。



「津幡高校産「玉小石」を使用した牛首紬の制作」

～石川県立津幡高等学校 100 周年養蚕復活プロジェクト～

石川県立津幡高等学校

教諭 大丸孝斉

1. はじめに

本校は大正 13 年に河北農蚕学校として開校し、平成 25 年 10 月に創立 90 周年記念式典が挙行されました。その際、学校のルーツが養蚕であったことから、10 年後の 100 周年に向けて、原点回帰を目指し「養蚕復活プロジェクト」を立ち上げました。

2. 取り組み

(1) 平成 26 年～28 年

～桑の植樹、家蚕・天蚕の試験飼育、各種調査、牛首紬について～

養蚕を行うために、桑の実用 200 本と、桑の葉用 1,000 本の植樹を計画し着手しました。途中、苗木の生産組合から「生育不良のため出荷できない」との連絡があり、計画通りにはいきませんでした。現在では桑の実用約 200 本と、桑の葉用約 700 本を管理しています。

桑の木が成長するまでの平成 26 年～27 年にかけては、「富山がうん天蚕の会」から譲り受けた天蚕（ヤママユガ）の飼育や、「錦秋×鐘和」を人工飼料で飼育しました。また、平成 28 年には、養蚕の普及啓発活動として、蚕の飼育セットと桑の栽培セットを地域の学童保育や小・中学校に配布しました。



給桑

石川県の養蚕や絹織物の歴史を調べると、かつて、石川県は絹織物の産地として栄え、富岡製糸場に次ぐ全国第二の規模を誇った金沢製糸場などがありました。現在でも、加賀友禅や牛首紬など是有名ではありますが、石川県の伝統工芸品という点においては、「輪島塗」や「九谷焼」などと比べると、知名度が低い気がします。そのような背景の中、生徒たちが着目したのが「牛首紬」でした。我々が取り組みを始めた頃、「牛首紬」に使用されている繭のほとんどが中国産で、国内産の繭は北陸三県唯一の養蚕農家である福井県の杉本氏のみということを知りました。そこで、我々は、津幡高校の創立 100 周年を見据えながら、石川県の「伝統工芸と養蚕文化を守る起爆



牛首紬（白生地）



純国産絹マーク（白生地）



牛首紬（帯地）



純国産絹マーク（帯地）

剤になる！」という、無謀にも壮大なプロジェクトへ発展させ、最終目的は石川県の伝統工芸「牛首紬」を、地元石川県産（津幡高校産）の繭で作ることとしました。

(2) 平成 29 年～令和 3 年

～桑の葉での飼育「錦秋×鐘和」、「玉小石」～

平成 29 年には、桑の葉を利用した蚕の飼育を行うことができるようになりました。桑の葉の利用は初めてということもあり、過去に飼育経験のある「錦秋×鐘和」約 1,000 頭を 3 令幼虫から飼育し、大きな

問題もなく無事に繭になりました。

平成 30 年、いよいよ「玉小石」の飼育に挑戦です。我々が「玉小石」という品種を特別視しているのには理由があります。「玉小石」は、古くから皇室でも飼育されている日本固有の在来種「小石丸」の DNA を受け継ぎながら“玉繭”を作る蚕の割合が 30% 以上もあるという極めて貴重な品種です。「玉小石」の卵を、（一財）大日本蚕糸会蚕糸科学技術研究所より購入し、飼育することにしました。しかしながら、春は、人工気象器の温度センサーが故障していたため、約 6,000 の卵が全て死んでしま

いました。再起をかけた秋は、着物一反分に必要な約 10,000 頭の飼育を開始しましたが、その約半数以上が、病気等の影響で飼育 3 日以内に死んでしまい、最終的に繭になったのは、約 1,500 頭でした。この頃の我々には果てしない目標がありました。それは、「平成最後の年に、石川県産（津幡高校産）繭の牛首紬第一号を皇室に献上したい」というものでした。「玉小石」と「小石丸」の関係性や、「小石丸」と上皇后美智子様の関係性を学習した生徒たちは、「平成最後の年に、石川県産繭を使用した我々の最初の牛首紬一反を何としても献上したい」という思いで、この年 3 度目の飼育を 10 月に開始しました。飼育期間中は毎週のように、杉本氏のところに通って助言を受け、不安なことは毎日のように蚕糸科学技術研究所の常山氏に電話やメールで指導を仰ぎました。また、これまでの反省を活かし、アルコールや石灰での消毒を徹底し、餌となる桑の葉も周辺で散布された農薬の付着している可能性もあることから徹底的に洗ってから与えました。その結果、約 9 割の個体が繭をつくりましたが、この年の繭だけでは着物一反を作るには足りず、また、杉本氏の「玉小石」を使用した牛首紬を制作していた「加藤手織牛首つむぎ」も、「玉小石」の取り扱いを止められたということもあって、牛首紬の完成はお預けとなりました。それでも、いつか本校の繭を使用した牛首紬を作るチャンスが来ることを期待しながら、令和元年に約 7,000 頭、令和 2 年と令和 3 年は約 2,000 頭の「玉小石」の飼育を続けました。

(3) 令和 4 年～令和 5 年

～牛首紬の完成に向けて～

令和 4 年、津幡高校産「玉小石」の繭が十分に揃ったので、創立 100 周年に向けて、牛首紬を何とか完成させたいと思い、「加藤手織牛首つむぎ」代表の加藤氏にお願いをしました。工程の一部を「くらしつむぐあとリエ」代表の嘉村氏にもお手伝いいただき、津幡高校産の繭を使用した記念すべき牛首紬が完成いたしました。完成した製品を初めて見たときは、出来上がった達成感もさることながら、その白色の光沢の美しさ、この牛首紬が出来上がるまでに関わって下さった方々の熱い思いが感じられ、言葉にならない感動を受けたことを覚えております。その後、純国産絹マークを取得することもできました。

3. おわりに

今回出来上がった牛首紬は、創立 100 周年の記念品として来たる 10 月 28 日の記念式典にてお披露目させて頂く予定になっています。この養蚕復活プロジェクトを通して、石川県はもとより日本の養蚕業の歴史や文化を深く学ぶことができました。今回の牛首紬が本校養蚕活動 100 周年の集大成として、また、101 年目からの養蚕活動の原動力となるように、これからも養蚕に携わっていきたいと思います。

最後になりますが、本校のプロジェクトに関わって下さった全ての方々に改めて感謝申し上げます。ありがとうございました。

ジャパンシルクセンターの現況

一般財団法人大日本蚕糸会
ジャパンシルクセンター

インバウンド商況

水際対策が緩和されて以降急速に海外からの旅行者数は回復しています。コロナ前の主流であった中国からの旅行者は回復途上の半面アメリカ、ヨーロッパを中心に中東圏に広がる地域からのご来訪があります。

「日本の絹」に対する魅力、関心、安心、安全、高品質といったイメージがジャパンシルクセンターへのご来店動機に繋がっているように思われます。ご自分へのご褒美に、ご家族ご友人へのお土産にお一人で多くのお買い上げをされる方も目立っています。中にはモバイルで電話されながら、画像で確認しながらの今風の購入スタイルでご購入の方も目にします。

今後はジャパンシルクセンター HP の内容をさらに充実させて、インバウンドを意識した訴求も考えていきたいと思っています。

純国産商品

現在、ジャパンシルクセンターでは4者6アイテムの純国産絹製品を展開しています。年度により申請許諾者数に差がありますが、20数者が純国産絹による絹製品をお客様へお届けしています。蚕から絹へ、そして製品へと商品が持つ特性をお客様へご案内することでご購入されたお客様のブランドイメージは高くなり大切にされていくことに繋がります。主たる製品である和装は着用機会が少なくなっていますが、「ハレの日」の装いに華を添え、大切な思い出となって残ります。



「日本の絹」が人生の一コマひとコマに彩りをもたらしています。

純国産の絹は養蚕農家の減少とともに厳しい状況が続いていますが、製品を通してお一人お一人の消費者に作り手の想いを伝えていけたらと考えています。



純国産絹製品



群馬県蚕糸業による国際貢献の可能性とベトナム視察

碓氷製糸株式会社

代表取締役常務 土屋真志

1 群馬県蚕糸業による国際貢献

我が国における繭生産の減少に歯止めがかからず、近い将来、碓氷製糸の原料不足が強く懸念されています。

この打開策の糸口がないか、2019年からの3年間、群馬県蚕糸園芸課長を務める中で、現在でも世界最高水準である本県の蚕糸技術を活用し、発展途上国も本県もWin-Winの関係が構築できないか、と考えていたのが「ぐんまシルク国際アカデミー構想」でした。

この構想はJICAと連携し、蚕糸業を営むベトナム、ネパール、ウズベキスタンなどから海外技能実習生を受け入れるシステムを本県に構築しようとするものです。このアカデミーで年間数tの繭が生産できれば、碓氷製糸の存続にも貢献できるのではないかと考えました。

課長当時、調査費を確保はしたもののコロナ禍により構想は数年間棚上げとなり、やっと今年2月に県が調査団を派遣でき、後追いでJICAからの同行依頼があり、ベトナムを訪問することになりました。

2 ベトナム蚕糸業の現状や要望

視察日程は、JICA 宍戸理事長特別補佐の訪越日程にリンクさせ、4月4日から9日

までの5泊6日、ハノイ市、ランドン省ダラットを訪問しました。

各地で協議した関係者からの主な情報や意見は次のとおりでした。

■ベトナム農業農村開発省

チャン・ティン・ナム副大臣（4月4日）

群馬県には、蚕糸業も含めたベトナム農業大学からのインターンシップ受入、また、蚕糸業を拡大したい地域があり技術支援や本邦研修を依頼したい。併せて、6月に広島県や東京を訪問する予定があるので、群馬県も訪問して知事を表敬したい。

■ランドン省 人民委員会委員長、農業局長、経済局長、外務部長等（4月6日）

ランドン省の蚕糸業はベトナムの約80%を占め、桑園9,700ha、養蚕農家15,000戸、繭15,500t、製糸工場が32カ所あり1,800tの生糸を生産している。

第1の課題は蚕種の国産化。中国に蚕種輸出を停止されたらベトナムの蚕糸業も止まる。国立蚕糸研究所があるので、群馬県からの技術支援をぜひともお願いしたい。



繰糸場

■ Ba Minh Silk Co., Ltd 製糸工場 バー社長（4月7日）

現在、工場の従業員は300人で年間で250tの生糸を生産しており、新たに年間300t分の工場を増設したいと考えている。生糸のほとんどをインドに輸出している。中国が生糸をインドに輸出すると17%の関税がかかり、この関税が生糸の競争力を生んでいる。

養蚕を導入する農家が多く、当地は気象条件が良く年間飼育が可能なので生産性は極めて高い。

■ Huy Trang Co., Ltd 稚蚕飼育農家（4月7日）

400戸の養蚕農家を対象に毎週のように配蚕している。30人の従業員がおり、18haの桑園（灌漑施設あり）を所有している。日本における稚蚕人工飼料飼育に関心がある。



稚蚕飼育所

3 ナム副大臣の群馬県知事表敬と今後への期待

今回の訪問を受け、6月にナム副大臣が群馬県の山本一太知事を表敬訪問し、併せて、蚕糸技術センター及び稚蚕人工飼料センターを視察されました。蚕種の育種や製造、人工飼料、条桑収穫機に強い関心を示され、今後、群馬県と蚕糸業を通じた連携強化を期待する発言がありました。

JICAを通じて実現できたこの度の交流が、世界遺産「富岡製糸場と絹産業遺産群」の主題である「技術革新」と「国際交流」と同様に、令和における蚕糸業を通じた国際貢献の一つとなりながら、碓氷製糸、本県蚕糸業、ひいては我が国の蚕糸業の維持発展にも寄与できるよう大きく展開できることを期待してやみません。

「繭と糸の会」の紹介

繭と糸の会

事務局長 鈴木繁實

1 設立の背景と経緯

2001年3月、銀河系いわて大使の上村花保吏さん（京都在住・茜染作家）が岩手県知事に「蚕糸に関する試験研究の存続と養蚕施設を伝承体験施設として活用できるよう」要望書を提出した。これに呼応して、蚕糸関係の県職員退職者で組織する「岩手県シルクロードの会」が県農業研究センター（以下農研セ）に「養蚕飼育施設及び関連機械等の利用について」の要望書を提出した。

同年7月に「業務に影響しない範囲での使用を認める」との回答が寄せられ、農研セの養蚕飼育施設・関連機械類及び農業科学博物館等の継続利用が可能となり、これまでの活動を担ってきた「岩手県シルクロードの会」とは異なる新たな組織の設立が必要との考えから、2002年4月に「養蚕・製糸・染織の技術を次世代に伝承することを目的」とするボランティア団体「繭と糸の会」が誕生し、会員数は55名を数えた。

2 活動の記録

設立初期（2002～2011年）には農研セとの共催行事を中心に活動してきたが、2012年以降、殆どの会員が現役を退いたこと等により、養蚕農家への技術支援及び

一般の方々や小学生を対象としたカイコやシルク等の啓発活動に事業展開してきている。主な活動の記録を紹介する。

1) 桑品種保存園の栽培展示と管理

桑品種保存園は北上市の県立農業ふれあい公園内に新たに設置し、2002年4月に109品種を植付けた。桑品種保存園の管理は本会が担い、植付けに当たって①中刈単幹仕立、②連続春切、③年2回の除草と畝間耕耘のみの粗放管理、④1品種1株植え（畝間3.0m×株間2.0m）、⑤植付3年目以降無肥料栽培・病虫害防除無し、の5点を採用。2022年4月に20年連続春切・粗放管理した中刈単幹仕立桑樹の生育状況を調査した。主幹・枝条ともに健全な桑品種は剣持、新桑2号、多胡早生、みつしげり、ゆきしのぎ、ゆきしらず等の18品種であった。

2) 一日子供農業研究員への協力

一日子供農業研究員は子供たちに試験研究の体験を通じて農業への理解と関心を深めることを目的とし、農研セ内各研究部門の協力により実施されてきた。2002年に外部団体の「繭と糸の会」に協力要請があり、2002～2011年には「夏休み・蚕の飼育体験」（10回・のべ150名）、2003

～2006年には「冬休み・繭と生糸の研究」(4回・のべ88名)が開催され、小学5年生が初めてカイコとシルクに触れ合う機会の創出に貢献できた。

3) 農研セ参観デー協賛「シルクの草木染体験」

シルクの素晴らしさを体験してもらうため、2002年から2019年まで「シルクの草木染体験」を開催。キハダ、紅花、タマネギ、赤ジソ、藍(生葉染)の草木染を実施。体験者は18年間でのべ1800余名に上った。

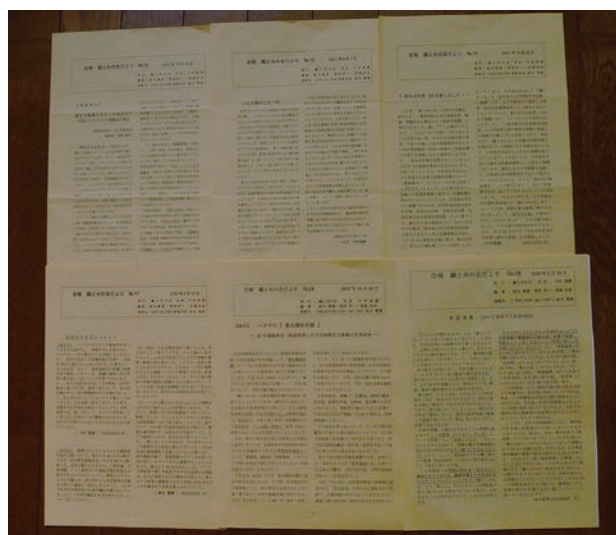
4) 奥州市立常盤小学校4年生への蚕飼育学習指導

2018年6～7月に常盤小学校4年生120名が取り組んだ総合学習「蚕の飼育体験」を支援した。蚕の飼育指導に始まり、配蚕から、数日おきの桑収穫と提供、飼育・上族・収繭と約1か月の応援。後日、送られてきた「蚕の飼育体験記録」には、児童それぞれの視点での観察記録に思わず頷きながら、楽しく読ませていただいた。初め、蚕が怖いとか、気持ち悪い、触れない、といった不安の声や蚕は何故桑しか食べな

いの、といった疑問の声もあった。しかし、桑を与えたり、世話をするうちに次第に可愛いと感じるようになっていたり、愛着を感じるようになっていく過程が見事に文中に表現されていた。これを機会に子供たちが生き物に興味を持ち、更に願わくは、成長していく過程で生物に関心を持ち、蚕糸業が見直される時代が来ることを期待したい。

3 今後期待すること

桑や蚕、シルクの魅力や利用技術などの情報発信と共有を図るため、会報「繭と糸の会だより」年2回発行している。カイコ冬虫夏草からヘルスケア製品を開発している(株)バイオコクーン研究所(会報No.13)、北上市地域おこし協力隊養蚕担当(No.16・No.17)、松岡冴さんが起ち上げた「さらのき工房」(No.18)、繭と漆のジュエリー等の新たな繭クラフト作品を制作している江見夏恵さん(No.19)等の取り組みを紹介してきた。桑・蚕・生糸という養蚕の時代から、素材としてのマルベリー・シルクワーム・コクーン・シルクから新たな何かを創りだす時代の到来を期待しつつ・・・。



第6回「益田 孝」

(一財) 大日本蚕糸会 蚕糸科学技術研究所

元客員研究員 清水重人

今回の蚕糸偉人は、旧三井物産の設立者で近代^{すきしや}数寄者としても知られる^{どんおう}鈍翁・「益田孝」です(図1)。

氏は、嘉永元年(1848)、佐渡国(現在の新潟県佐渡市)で生まれ、幼少期から鉱山という採鉱事業の環境の中で育ち、その影響を受けてきた。氏の父が28歳で幕臣に登用され、箱館奉行詰を命ぜられたのに伴い、氏は7歳で家族とともに佐渡から函館に移った。函館では、外国文化の流入が進み語学も盛んだった。氏は11歳で教育所に通い、英語も習った(長井実編「自叙益田孝翁伝」)。安政6年(1858)、氏の父は江戸詰を命じられ、今度は函館から江戸へ移った。万延元年(1860)、氏は幕府の試験を通ると翌年、15歳で米国領事館の善福寺詰を命じられ、駐日公使のタウンゼント・ハリスとの接触を通して、さらに英語の実力を磨いた。文久3年(1863)、氏は17歳でフランスに渡航し、産業革命が進んだパリでのガス灯や写真撮影などに驚くとともに、ナポレオン3世にも拝謁した。この渡航は、氏のその後の生き方に大きな影響を与えた。

<先収会社>

明治2年(1869)、氏は22歳で商人へ



図1 益田孝氏(大日本蚕糸会報 第436号より)

の道を目指し横浜に移住した。翌年には、米国のウォルシュ・ホール商会に迎えられ、多くの商取引を経験するなかで、これまでの英語が役に立つとともに、さらにその会話力を磨いた。また、氏自身も「中屋徳兵衛」の屋号で茶と海産物の売込み問屋を開いた。明治5年(1872)氏が25歳の時、井上馨^{だifu}大蔵大輔(後の大蔵次官)の勧めで造幣^{ごんのかみ}権頭(後の造幣局長)を勤めたが、翌年、職を辞し、井上と「先収会社」を設立した。井上が総裁となり、氏は英語に堪能だったこともあり実質上の社長となった(この会社が三井物産(株)の前身となる)。明治8年(1875)、先収会社は解散を余儀なくされ、その際に氏は高額の利益分配金をあずかった。先収会社は「三井国産方」が引き継ぐことになるが、翌年、氏がその分配

金を支出し、社長を引き受けて「三井物産会社」が設立された。綿糸、石炭、米など様々な物品を取扱う中で、生糸については特に米国への販路を広げるなど業界のため尽力した。そして、明治後期には取扱高が日本の貿易総額の2割ほどをも占める大商社に育て上げた。

＜蒐集家・数寄者＞

明治に入り、廃藩置県による大名の没落と廃仏毀釈^{はいぶつきしゃく}によって様々な美術品や仏像仏具類が巷にあふれた。氏は当初、仏教美術など古美術の観賞と蒐集に興味をもち、古筆、古画、古陶磁などを蒐集していた。その後、茶湯に没頭することになるが、そのキッカケとなったのが井上馨と氏の弟「克徳」^{くくとく}の勧めだった。先収会社から三井物産会社へと多忙な時期であったが、徐々に茶湯の魅力と茶具への蒐集に傾倒していった。氏は、明治6年（1873）、品川東海寺に移った後、しばらくして近くの御殿山に家を購入した。この地が氏の数寄者としての代名詞ともいえる茶湯の「碧雲臺」^{へきうんだい}となる。ここでは数々の茶会が開催され、幾多の著名人が集まり、氏は大茶人としての地位を獲得していった（白崎秀雄著「鈍翁・益田孝／上巻・下巻」）。

＜生糸荷預所＞

明治初年から、横浜において盛んに生糸の売買が行われていた。日本の商人が持ち込んだ生糸は、外国商人により検査、重量調査、値付けが行われた上、最終的に引取られる保証もなく、外国商人の言いなりだ

った。そのような日本生糸商人の不利な立場を改善すべく、明治14年（1881）、氏は「渋沢栄一」と協力して「聯合生糸荷預所」を設け、そこで検査、計量、取引を行うこととし平等化を図った（氏は35歳）。また、銀行各社との懇談を通して、生糸荷預所に対して金融上の便宜を図るなど、国内生糸取引業者の円滑な取引に貢献した（シルクレポート No.74、2022年7月号「第1回 渋沢栄一」参照）。

＜富岡製糸場の落札と売却＞

明治21年（1888）、大隈重信が外務大臣になると、外貨獲得の一手段として官有物や官業の民間払い下げが行われた。明治5年（1872）操業の富岡製糸場の生糸は、高品質でありフランスへ輸出されていた。明治10年（1877）には、外国資本の貿易会社になり氏の三井物産会社が輸出の役割を担った。しかし、規模が大きく生産効率が低いことから民間払い下げの対象となり、明治26年（1893）、三井物産会社が落札した。そして、新型の機械に入れ変えるとともに、生産した優良な生糸は総て米国に輸出した。しかし、明治34年（1901）、落札を主導し工業化路線を唱え、氏とライバル関係にあった経営トップが亡くなると翌年、商業化路線を重視したとされる氏の主導の下、富岡製糸所は横浜・三溪園で知られる「原富太郎」の原合名会社に売却された。

＜生糸の輸出＞

明治20年（1887）、氏が41歳で渡欧

した時、西洋では既に女性が働いており、シルクの着用願望があることを知った。帰国後、生糸の需要増加を見据え、国内養蚕を奨励するとともに、様々な面から支えた。明治40年（1907）、氏が61歳の渡米では、三井物産会社ニューヨーク支店の職員を鼓舞し、米国における生糸取扱高を1位に押し上げるなど、日本生糸輸出に貢献した。その結果、米国の生糸輸入に占める割合の殆どが日本生糸になり、明治42年（1909）、日本は世界一の生糸輸出国になった。

<帝国蚕糸株式会社>

大正3年（1914）、第1次世界大戦が勃発し生糸価格が暴落したため、翌年、大隈重信首相の下、原富太郎が社長、氏と渋沢栄一が相談役となり、政府も出資して「帝国蚕糸株式会社」が設立された（氏は68歳）。閣内には強い反対があったが、氏や原富太郎が説得し実現した。その大戦終了後（大正7年（1918））、好景気が訪れた

が、翌々年には暗転して再び恐慌が起こった。生糸価格は暴落し、製糸業者、養蚕業者、生糸問屋など業界が総崩れの危機に見舞われた。この時も、第2次帝国蚕糸株式会社が設立され、生糸の買い上げなどが行われ、危機を乗り越えることができた。

<終わりに>

氏は、幼少期を炭鉱という特殊な環境の中で過ごし、積極的に英語を習い、会話力を磨いた。そのことが、商業への道に進むことになるとともにその後の業績の向上に繋がった。古美術の蒐集に興味をもつとともに茶湯の世界に入り、茶湯を通して各界の著名人との交流を深めていった。三井物産会社では生糸を扱い、国内養蚕を積極的に奨励した。また、生糸の国外輸出をはじめ蚕糸業界へ多大な尽力をするとともに、大日本蚕糸会の副会頭を勤めた。その功績に対し「功績賞」に続いて次に示すように「恩賜賞」が授与された。

恩賜賞

東京府 從四位勲三等男爵 益田 孝

明治五年大藏省に出仕し造幣權頭ごんのかみたり當時本邦海外貿易の微々たるを慨し官を辭して先收會社を起し次で三井物産會社を創立して其社長となり貿易の促進を圖り同十四年内外生絲商間に紛擾を譲すや其調停に當り圓滿なる解決を告げしめ同二十年歐米を歴遊して生糸貿易の将来益益有望なるべきを看取し歸朝後汎ひろく蠶絲業の勸奨に努め三井物産會社をして生絲直輸出を開始せしめ需給両者の聯絡れんらくと意思の疏通に便し製絲改良の根本は蠶種の改良統一にあることを高唱して國立原蠶種製造所設置の機運を促し或は繭運賃低下の必要を力説して之を實現せしめし等常に斯業の根幹つちかに培ふと共に當業者の先驅ゆうえきとなり誘掖ゆうえきに至らざるなし、後再び海外に渡航し又日英博覽會の評議員に選任せられ其間内に品質の改善を警告し外に本邦蠶絲せいかの聲價を博するに努め貿易の進展に寄與する所頗る大なるものあり明治四十三年本會理事となり次で副會頭に推され會運の發展に關し劃策最も努め偶々たまたま大正三年世界戰亂の影響を受け絲價激落に際會するや之が救済の為第一次帝國蠶絲株式會社の設立に力を致し以て克よく其目的を達せしめたり爾來終始蠶絲業の為に貢獻せる其功績きこうしん寔に偉大なりとす仍て本會功績表彰規則に據り特に恩賜賞を贈與し以て其功績を表彰す

大日本蠶絲會總裁大勲位功二級 載仁親王

大日本蠶糸会報 第 436 号 (昭和三年 (1928) 六月号)

恩賜賞 益田孝

●杉並区立郷土博物館

「大正天皇の後 貞明皇后展」

弊会、第4代総裁であられた貞明皇后さまの展覧会が杉並区立郷土博物館で開催されます。

大正天皇の後 貞明皇后展

令和5年(2023)

10月21日(土)～

12月10日(日)

ーむげに幼かりしほど 住みける里のことども 思い出でー

大正天皇の後である貞明皇后(1884～1951)は、公爵九條道孝の四女として生まれ、生後7日目から明治21年(1888)11月までの約5年間を、東京府東多摩郡高円寺村(現・杉並区高円寺北)の大河原金蔵・てい夫妻のもとで、里子として育てられました。

明治33年(1900)の御成婚後は、宮中で初めて一夫一婦制を確立し連宮裕仁親王(昭和天皇)、淳宮雅仁親王(秩父宮)、光宮宣仁親王(高松宮)、澄宮崇仁親王(三笠宮)の四人の皇子をもうけました。また、養蚕事業の奨励、灯台守への支援などの社会事業にも尽力しました。

本展では、貞明皇后と杉並との関わりに焦点を当てるとともに、大正天皇病氣平癒のための祈祷が行われた大乗寺から当館に寄贈された貞明皇后ゆかりの品などを展示します。



▲貞明皇后装束
当館蔵



▲貞明皇后お形見品の胡蝶舞人形
大河原金蔵蔵



▲貞明皇后デザインのボンボニエール
(貝桶形流水菊花葵文)
個人蔵



▲宝飾御筆箱(貞明皇后遺品)
國學院大学博物館蔵

講演会

「貞明皇后とその時代」

小田部 雄次氏
(静岡福祉大学名誉教授) 定員100名

【日時】11月11日(土) 14:00～16:00

【会場】セシオン杉並 展示室
(杉並区梅里1-22-32)

申込方法

東京共同電子申請・届出サービスより申込または往復はがきに「11月11日講演会参加希望」、氏名(ふりがな)、年齢、住所、電話番号を記入。10月26日(木)必着。1通につき1名。



お申し込みはこちらから▼

「皇室の玉手箱

ー貞明皇后とボンボニエールー

長佐古 美奈子氏
(学習院大学史料館学芸員) 定員50名

【日時】11月25日(土) 14:00～16:00

【会場】本館視聴覚室

申込方法

東京共同電子申請・届出サービスより申込または往復はがきに「11月25日講演会参加希望」、氏名(ふりがな)、年齢、住所、電話番号を記入。11月9日(木)必着。1通につき1名。



お申し込みはこちらから▼

●展示解説 【日時】10月28日(土) 14:00～/12月2日(土) 14:00～ 【会場】本館特別展示室



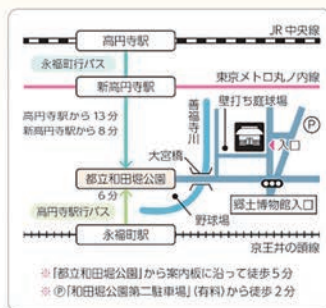
杉並区立郷土博物館
Sugunami Historical Museum

開館時間：午前9時～午後5時

休館日：毎週月曜日・毎月第3木曜日(祝日と重なった場合は開館し、翌日が休館日)

観覧料：【本館】100円(20名以上の団体は1人80円) ※中学生以下、障害者手帳を提示する方およびその付き添いの方は無料

〒168-0061 東京都杉並区大宮1-20-8 TEL:03-3317-0841 <https://www.city.suginami.tokyo.jp/histmus/index.html>



■交通案内

- ・京王井の頭線「永福町」駅北口から徒歩15分、又は「高円寺駅」行きバスで「都立和田堀公園」下車徒歩5分
- ・JR中央線「高円寺」駅南口・東京外口丸ノ内線「新高円寺」駅から「永福町」行きバスで「都立和田堀公園」下車徒歩5分

●岡谷蚕糸博物館 企画展

「人生の節目と絹に寄せる思い」

人の一生には誕生からお宮参り、七五三、入学や卒業、結婚、葬式など多くの節目があります。こうした節目の儀礼が行われる日に、絹の衣装は特別な日の装いとして人々の人生に寄り添ってきました。今回の展示では当館の収蔵品を中心に、諏訪地域の家庭や製糸業に関わっていた家庭で大切に受け継がれてきた絹の衣装をご紹介します。

〈会期〉 8月24日（木）～ 11月19日（日） 9:00～17:00

休館日：水曜日・祝日の翌日

〈主催〉 岡谷蚕糸博物館 ーシルクファクトおかやー

〈会場〉 岡谷蚕糸博物館 〒394-0021 長野県岡谷市郷田 1-4-8

Tel: 0266-23-3489

<https://silkfact.jp/>

E-mail: hakubutsukan@city.okaya.lg.jp

●駒ヶ根シルクミュージアム 特別展

「第16回現代手織物クラフト公募展」

全国で独自の創作活動をしている織物のプロ、および将来プロを目指す方たちが創作した、独創的で優れた織物作品を展覧し、広く織物愛好家に向けて紹介するとともに、自立の道を拓く支援の場となることを目的に開催します。

〈会期〉 10月26日（木）～12月3日（日）

休館日：水曜日（祝日の場合は翌日）

〈主催〉 現代手織物クラフト公募展 実行委員会

〈会場〉 駒ヶ根シルクミュージアム 〒399-4321 長野県駒ヶ根市東伊那 482 番地

Tel: 0265-82-8381

<https://komagane-silk.com>

E-mail: shiruku@cek.ne.jp

●日本絹の里 特別展

「きものの彩り ～岡信孝銘仙コレクションより～」

日本画家の岡信孝画伯の古民芸コレクションを収蔵展示する須坂クラシック美術館（長野県）の協力により、大正から昭和のアンティーク着物を中心に古き美しき“もの”への想いをお伝えします。

〈会期〉 9月7日（木）～10月16日（月） 9:30～17:00

休館日：火曜日（祝日の場合は翌日）

〈主催〉 群馬県立日本絹の里

〈会場〉 群馬県立日本絹の里 〒370-3511 群馬県高崎市金古町 888-1

Tel: 027-360-6300

<https://www.nippon-kinunosato.or.jp>

●日本絹の里 企画展

「宝塚歌劇 ～美しき和の世界～」

宝塚歌劇の魅力の一つである絢爛豪華な衣装は、鮮烈な美しさで多くの人々を魅了し、夢と感動を与えています。本展は、宝塚歌劇展初となる《和》の衣装を中心とした構成で、華やかで美しい宝塚歌劇の世界をご堪能いただきます。

〈会期〉 10月21日（土）～12月11日（月） 9:30～17:00

休館日：火曜日（祝日の場合は翌日）

〈主催〉 群馬県立日本絹の里

〈会場〉 群馬県立日本絹の里 〒370-3511 群馬県高崎市金古町 888-1

Tel: 027-360-6300

<https://www.nippon-kinunosato.or.jp>

●日本絹の里 特別展

「季節を巡る草木染 ―^{けい}移りゆく景 ^{いしずえ}変わらぬ礎―」

草木染は植物など天然のものから色素を得る染色方法です。本展では、長年にわたり草木染の研究と創作活動を行っている「草木屋」（山崎樹彦代表）にご協力いただき、四季折々に採れる染料の魅力と、豊かな意匠の作品をご紹介します。

〈会期〉 12月16日（土）～2月4日（日） 9:30～17:00

休館日：火曜日（祝日の場合は翌日）、

年末年始（12/26～1/5）※1/3は臨時開館

〈主催〉 群馬県立日本絹の里

〈会場〉 群馬県立日本絹の里 〒370-3511 群馬県高崎市金古町 888-1

Tel: 027-360-6300

<https://www.nippon-kinunosato.or.jp>

●シルク博物館 秋の特別展
「第 27 回全国染織作品展」

絹は独特の光沢や風合い、染色性の良さを有し、古くから優れた高級衣料素材として用いられてきました。そして、古代から受け継がれてきた高度な染織技術は、日本の大切な伝統文化となっています。絹を用いた染織作品を広く全国から募集し、厳正な審査のうえ入選作品を一堂に展覧します。本展を通じて、次代をになう新進作家の育成及び染織技術の向上と服飾文化の発展を図るとともに、絹の需要増進に寄与したいと考えています。

〈会期〉10月21日（土）～11月26日（日） 9:30～17:00（入館は16:30まで）

休館日：月曜日（祝日の場合は翌日）

〈主催〉シルク博物館

〈会場〉シルク博物館 〒231-0023 横浜市中区山下町1番地シルクセンター2階

Tel: 045-641-0841

<https://www.silkcenter-kbkk.jp/museum/>

●シルク博物館
冬休み企画 「たのしいかいこの発表会」

年間を通してかいこについて学ぶ「チャレンジ！かいこプログラム」の集大成として、学習の展示発表会を開催します。まゆや生糸を使った作品、観察記録など、学びの成果を発表します。

【シルキークリスマス】12月17日（日） 入館無料日

今年もコンサートなど素敵なイベントを企画しています。

◎子ども向けワークショップ・クリスマスバージョンを開催します。生糸で作るランプシェードやまゆで飾ったオーナメント、真綿の天使人形を作ります。

季節限定のワークショップです。実施日など詳細は、ホームページをご覧ください。くか、お電話にてお問合せください。

〈会期〉12月12日（土）～1月21日（日） 9:30～17:00（入館は16:30まで）

休館日：月曜日（祝日の場合は翌日）

会期中、小・中学生は入館無料

〈主催〉シルク博物館

〈会場〉シルク博物館 〒231-0023 横浜市中区山下町1番地シルクセンター2階

Tel: 045-641-0841

<https://www.silkcenter-kbkk.jp/museum/>

★イベント開催報告

岡谷蚕糸博物館 ―シルクファクトおかや― 企画展

「日本茜・日本紫根 染織三人展」

企画： きののジャーナリスト 中谷比佐子、江戸古法染 高橋孝之、
爪搔本綴 服部秀司、京絞り 寺田豊

会期： 5月 18 日(木)～8月 20 日(日)

開催報告：

きののジャーナリスト中谷比佐子氏の企画で、現在栽培する方が少なくなっている、日本茜、日本紫根の色をつなぐ 3 人の染織家の作品を展示いたしました。会期中、この 2 つの植物を栽培している生産者の方もお招きして、トークショーを行いました。また 3 人の染織家の先生のご指導で開催した、「岡谷シルク京絞りワークショップ(紫根染め)」、「日本茜の糸染め実演」「シルク墨流し染めワークショップ」は大変な人気で、お客様に好評をいただきました。

群馬県立日本絹の里 特別展(夏休み展)

「学ぼうカイク ～カイクものがたり～」

会期： 7月 15 日(土)～8月 28 日(月)

開催報告：

本展では、群馬オリジナル蚕品種「ぐんま200」の蚕を大量飼育したほか、「黒縞」などのめずらしい模様の蚕や、「天蚕」を生態展示しました。また、収蔵資料の中から、「ものがたり」をキーワードに、「カイクの一生と養蚕農家さんの物語」、「物語の中のカイク」等のテーマで資料を紹介しました。会期中は毎日、「カイククイズ」「桑くれ体験」「カイクを描こう！」などの行事を行い、日替わりで絹や繭を使った体験教室を開催し、子供から大人まで、沢山の方々に楽しみながら蚕や絹の魅力に親しんでいただきました。

シルク博物館 夏休み企画

「かいこ教室」

会期： 7月 29 日(土)～8月 13 日(日)

開催報告：

シルク博物館では、7月 29 日(土)から 8月 13 日(日)まで夏の小学生向け企画「かいこ教室」を開催しました。

この教室では平日に「映画『かいこ』の上映」「かいこの観察会」「まゆ人形作り」「生糸のランプシェード作り」の 4 つのワークショップを実施し「蚕からシルクまで」を 1 日で学び、土日には「博物館見学ツアーとまわったスタンド作り」を体験することで蚕や絹についてさらに深く学ぶことができるプログラムとしました。夏休みの親子連れを中心に多くの方にご来館いただき、小学校で蚕を飼育し興味を持ったという小学生など、ワークショップに熱心に取り組む子どもたちで連日盛況となりました。

2023 年度第 2 次分の純国産絹マーク使用許諾状況

純国産絹マークの 2023 年度第 2 次審査委員会を 2023 年 8 月 29 日（火）に開催しました。今回の申請は 5 者で、すべて既許諾者で、製品の追加 1 者 1 品目、履歴の追加 3 者 5 品目、数量の追加 1 者 3 品目の申請がありました。これらの申請を審査委員会で審査した結果、5 者 9 品目に対し、9 月 5 日（火）付けで純国産絹マークを使用許諾する旨通知しました。

純国産絹マーク使用許諾企業名 (表示責任者名)	表示対象 製品名	表示対象 数量	生産履歴の内容 (繭生産地・企業等)
(製品の追加) (株) ヤマノホールディングスきもの事業本部 代表者名：山野義友 (担当者：大岡政美) 〒 151-0053 東京都渋谷区代々木 1 丁目 30 番 7 号 ヤマノ 24 ビル 3F TEL：03-3378-2984 表示者登録番号 225	白生地（表地）	30 反	蚕品種 春嶺×鐘月 繭生産 JA おやま管内養蚕農家 製 糸 碓氷製糸（株） 製 織 村井機業場 精 練 丹後織物工業組合
(履歴の追加) 織匠万勝 代表者名：前田章 (担当者：前田健) 〒 604-8267 京都市中京区姉小路通堀川東入る鍛冶町 173-1 TEL：075-257-5747 表示者登録番号 026	先染反物（着尺）	50 反	繭生産 JA はが野、JA ふくしま未来 管内養蚕農家、 （一財）岐阜県蚕糸協会 製 糸 碓氷製糸（株） 染 色 北村善染工所 製 織 自社
	先染反物（着尺）	50 反	繭生産 JA はが野、JA ふくしま未来 管内養蚕農家、 （一財）岐阜県蚕糸協会 製 糸 碓氷製糸（株） 染 色 北村善染工所 製 織 自社
(履歴の追加) (株) 丸万中尾 代表者名：中尾浩祥 (担当者：中尾浩祥) 〒 526-0835 滋賀県長浜市室町 180 番地 TEL：0749-62-1660 表示者登録番号 028	白生地（表地）	10 反	蚕品種 小石丸 繭生産 JA 前橋市管内養蚕農家 製 糸 松澤製糸所 製 織 南久ちりめん（株） 販 売 （株）高島屋

純国産絹マーク使用許諾企業名 (表示責任者名)	表示対象 製品名	表示対象 数量	生産履歴の内容 (繭生産地・企業等)
(履歴の追加) あや工房 代表者名：米須幸代 (担当者：米須幸代) 〒 903-0122 沖縄県中頭郡西原町字小橋川 280-5 TEL：098-946-9561 表示者登録番号 218	先染反物(首里織)	50 反	蚕品種 ぐんま 200 繭生産 JA あがつま・JA 甘楽富岡・ 製 糸 JA 北群渋川管内養蚕農家 染 織 碓氷製糸(株) 自工房
	先染帯地(首里織)	200 本	蚕品種 ぐんま 200 繭生産 JA あがつま・JA 甘楽富岡・ 製 糸 JA 北群渋川管内養蚕農家 染 織 碓氷製糸(株) 自工房
(数量の追加) (株) 高島屋 代表者名：村田善郎 (担当者：大西隆寿) 〒 542-8510 大阪市中央区難波 5-1-5 TEL：06-6631-1101 表示者登録番号 030	後染反物(振袖)	65 反	繭生産 JA なす南管内養蚕農家 製 糸 松岡(株) 製 織 (株) 竹林 染色加工 (株) 千總
	後染反物(振袖)	19 反	繭生産 JA なす南管内養蚕農家 製 糸 松岡(株) 製 織 篠春織物(株) 染色加工 (株) 千總
	後染反物(振袖)	8 反	繭生産 JA なす南管内養蚕農家 製 糸 松岡(株) 製 織 (株) 竹林 染色加工 (株) 千總

次回の純国産絹マーク審査会の予定は次のとおりです。

純国産絹マークの使用許諾を申請される方は、事務局との事前協議を経た上で、下記の提出締切日までに、純国産絹マーク使用許諾申請書を提出してください。

次回審査会 2023 年度第 3 次：2023 年 11 月 17 日（金）

純国産絹マーク使用許諾申請書の提出締切日：2023 年 10 月 25 日（水）

(連絡先)

〒 100-0006

東京都千代田区有楽町 1-9-4 蚕糸会館 6 階

一般財団法人 大日本蚕糸会

担当：岡島、小林

TEL：03-3214-3500 FAX：03-3214-3415

E-mail：岡島：aokajima@silk.or.jp

小林：kobaei@silk.or.jp

一般財団法人大日本蚕糸会から

純国産絹マーク使用許諾者及び絹製品名一覧 2023年9月5日(2023-第2次)現在

表示者 登録番号	企 業 名	所 在 地	主 な 絹 製 品 名
001	(株) 千總	京都市中京区	後染反物(振袖、訪問着、付下、色無地、色留袖、黒留袖、喪服)、胴裏
002	(株) 織匠田歌	京都市上京区	先染反物、後染帯地
004	(株) 丸上	東京都中央区	後染反物(色無地、小紋、付下、黒紋付)、後染帯地
005	(株) 坂本屋	茨城県土浦市	後染反物(色無地)、胴裏(灰汁浸け加工)
006	(有) 平原	福島県白河市	後染反物(色無地、黒紋付)
007	(株) 信盛堂	東京都清瀬市	後染反物(色無地、黒紋付)
008	(株) きものアイ	新潟県十日町市	後染反物(色無地)
009	(株) 上庵	岩手県北上市	後染反物(色無地、黒紋付)
010	(有) 樹 (いづき)	秋田県横手市	後染反物(色無地、黒紋付)
011	(株) 銀座もとじ	東京都中央区	後染反物(作家作品)、後染帯地、先染反物(大島紬、結城紬、御召、作家作品)、先染帯地(織九寸帯、織角帯、作家作品)、白生地、和装小物(帯締、羽織紐)、八掛、胴裏
012	河瀬満織物(株)	京都市上京区	先染帯地
013	(有) 織匠小平	京都市北区	先染帯地
015	(株) 結華	静岡県清水町	後染反物(色無地、黒紋付)
016	(有) 絹回廊	東京都中央区	後染反物(色無地)
018	(有) 大善屋呉服店	福島県会津若松市	後染反物(色無地、黒紋付)、後染帯地、白生地(表地)
020	呉服のささき	山形県天童市	後染反物(色無地、黒紋付)
021	日本蚕糸絹業開発協同組合 (絹小沢(株))	群馬県高崎市	裏地(胴裏(ぐんま羽二重、ぐんまレピア、ぐんま200、灰汁浸加工、トルマリン加工)、八掛、比翼地)、長襦袢地、後染反物(作家作品、紋付地)、白生地(世紀二一、上州絹星・ぐんま200、新小石丸)、後染帯地((冬物・夏物):うるし糸が5%を超えるもの)、寝衣(うぶ着、おくるみ)、和装小物(袷紗)
022	宮階織物(株)	京都市上京区	先染反物、後染反物
023	21世紀の絹を考える会	京都府城陽市	後染反物(色無地、訪問着)、先染帯地(袋帯(草木染、唐織))
024	碓氷製糸農業協同組合	群馬県安中市	白生地、マフラー
025	丸幸織物(有)	京都府京丹後市	白生地
026	織匠万勝	京都市中京区	先染帯地(袋帯、名古屋帯、袋帯:金銀糸が5%を超えるもの)、先染反物(御召類、着尺)、後染反物(色無地)
027	(有) 織道楽塩野屋	京都府亀岡市	洋装品(マフラー、シャツ、ニット(ウォーマー、腹巻、手袋、靴下))
028	(株) 丸万中尾	滋賀県長浜市	後染反物(江戸小紋、小紋、付下、友禅、色無地、訪問着、留袖、色留袖)、後染帯地、白生地(表地)
029	(株) むらかね	青森県八戸市	後染反物(色無地、黒紋付)
030	(株) 高島屋	大阪市中央区	後染反物(振袖、七五三着物、色無地、訪問着、黒留袖)、白生地(長襦袢地、胴裏)、ニット(靴下)、風呂敷
031	(株) さが美	神奈川県平塚市	後染反物(黒紋付(冬用・夏用)、色無地)

表示者 登録番号	企 業 名	所 在 地	主 な 絹 製 品 名
032	(有) まるけい	静岡県富士市	後染反物 (色無地、黒紋付)
033	(有) 特選呉服専門店後藤	青森県むつ市	後染反物 (色無地、黒紋付)
034	(株) 小いけ	山形県鶴岡市	後染反物 (色無地、黒紋付、小紋)
035	(株) 伊と幸	京都市中京区	後染反物 (色無地、訪問着)、白生地 (表地、胴裏、帯地)、白生地 (表地 (天蚕糸交織))、白生地 (帯地 (天蚕糸交織))、婦人用ブラックフォーマル地、長襦袢
036	(株) 四季のきものおおにし	東京都杉並区	後染反物 (色無地、黒紋付)、後染帯地、白生地 (表地)
037	(株) 和幸	埼玉県久喜市	後染反物 (色無地、黒紋付)
038	(株) 榎屋高尾	京都市北区	先染帯地 (袋帯)
039	(株) つるや	埼玉県川越市	後染反物 (色無地、黒紋付)、白生地 (表地)
040	(株) 越後屋	千葉県市川市	後染反物 (色無地、黒紋付)
041	(株) 小倉商店	茨城県結城市	先染反物 (結城紬)、先染帯地 (結城紬)、白生地 (結城紬)
042	柳 崇 (染織家 柳崇)	東京都世田谷区	先染反物、先染帯地
043	児玉京子 (染織家 児玉京子)	沖縄県竹富町	先染反物、先染帯地
044	草木染工房山村 山村多栄子	東京都八王子市	先染反物、先染帯地、先染帯地 (金銀糸が5%を超える)、先染服地、ストール
045	手織りよおん 長嶺亨子	沖縄県沖縄市	先染反物、先染帯地、服飾品 (ストール)
046	祝嶺染織研究所	沖縄県沖縄市	先染反物、先染帯地
047	(株) 龍工房	東京都中央区	帯締
048	からん工房 深石美穂	沖縄県石垣市	先染反物 (紋紬、緋)、先染帯地
049	たわた工房	沖縄県那覇市	先染反物、先染帯地
050	山音 (株)	京都市中京区	後染反物 (色無地 (変三越、駒紬))
051	やまと (株)	京都市下京区	後染反物
053	桜井 (株)	京都市北区	先染帯地
054	有栖川織物 (有)	京都市上京区	先染帯地
055	太田和 (株)	京都市中京区	先染反物 (結城紬)、先染帯地 (結城紬)
056	(株) 岩田	京都市中京区	先染帯地
057	(有) 神原呉服店	千葉県銚子市	後染反物 (色無地、黒紋付)
058	浅山織物 (株)	京都市北区	先染帯地
059	(株) やまと	東京都渋谷区	先染帯地、先染帯地 (金銀糸が5%を超えるもの)、白生地 (加賀友禅用)、先染着尺 (加賀友禅用)、和装小物 (帯揚げ)
060	田中種 (株)	大阪市中央区	後染反物 (小紋 (変一越、紋意匠)、黒紋付、加賀友禅、色無地、すかし織着尺)、後染帯地 (九寸名古屋帯)、ニット (靴下、ネック&ボディ、ショルダー、アーム、タンクトップ、腹巻、手袋、ピロケース、肌襦袢、ネックウォーマー)、真綿布団、ハーフケット、布団カバー
061	(株) 京扇	東京都中央区	後染反物 (色無地)、胴裏 (パールトーン加工)
062	(株) なごみや	横浜市都筑区	後染反物 (色無地、黒紋付)

表示者 登録番号	企 業 名	所 在 地	主 な 絹 製 品 名
063	丸池藤井 (株)	京都市中京区	後染反物 (色無地)、八掛
064	久保商事 (株)	京都市中京区	和装小物 (帯揚、半衿)
065	加賀グンゼ (株)	石川県小松市	胴裏
066	千切屋 (株)	京都市中京区	後染反物 (訪問着、付下)、後染帯地
067	荒川 (株)	京都市下京区	和装小物 (帯締、帯揚)
069	(株) 紅輪 ((株) 紅輪 まるやま・京彩 グループ)	川崎市宮前区	後染反物 (色無地)、白生地 (表地 (紋意匠))
070	装いの道 (株)	東京都千代田区	白生地 (帯地、表地)、胴裏 (トルマリン加工、灰汁浸加工、ぐんま 200、新小石丸)
071	(株) 高橋屋	岩手県一関市	胴裏 (灰汁浸加工)
072	おお又 (株)	大阪市旭区	胴裏 (灰汁浸加工)、ニット (靴下)
073	(株) 天野屋呉服店	栃木県小山市	胴裏 (ぐんま 200 (灰汁浸加工))、白生地 (表地)
074	(株) きもの潮見	愛媛県西条市	胴裏 (パールトーン加工)
075	(株) とみひろ	山形県山形市	胴裏 (酵素精練)、白生地
076	(株) 細安	福井県福井市	胴裏 (酵素精練)
077	京和きもの (株)	神奈川県厚木市	胴裏 (酵素精練)
078	(株) まるため	長野県長野市	胴裏 (トルマリン加工、パーリー加工)
079	(株) 小川屋	群馬県前橋市	胴裏 (トルマリン加工、灰汁浸加工)
080	(株) エムラ	山口県防府市	胴裏 (酵素精練)
081	(株) 荒井呉服店	東京都八王子市	胴裏 (酵素精練)
082	(株) 牛島屋	富山県富山市	胴裏 (酵素精練)、後染反物 (小紋)
083	(株) 谷呉服店	福岡県筑紫野市	胴裏 (酵素精練)
084	(株) 登美屋	岩手県北上市	胴裏 (パールトーン加工)
085	(株) 川平屋	愛知県豊田市	胴裏 (パールトーン加工)、後染反物 (小紋 (変一越、紋意匠))
087	(株) 大丸松坂屋百貨店	東京都江東区	裏地 (胴裏、比翼地 (振袖用))、長襦袢地
088	西陣織工業組合	京都市上京区	マフラー、セーター、カーディガン、ショール、ネクタイ
089	(株) 綾の手 (旧 (株) あきやま)	宮崎県綾町	先染反物 (綾の手紬)、洋装品 (ショール、マフラー)
090	藤井紋 (株)	京都市中京区	後染反物 (色無地)
092	(有) 結城屋	兵庫県洲本市	白生地 (表地)
093	(株) ウメショウ	岐阜県瑞穂市	白生地 (表地)
095	(有) カシワギ	山梨県富士吉田市	寝具寝装品 (冬用・夏用・合用薄絹ふとん、ブランケット)、洋装品 (スーツ地、ネクタイ、服飾品 (スカーフ、ストール、シャツ))
097	(株) 平田組紐	東京都豊島区	帯締、帯締 (金銀糸が 5% を超えるもの)、羽織紐 (男物、女物)
098	(株) 菱健	京都市中京区	後染反物 (色無地)
099	西野 (株)	京都市上京区	帯締、帯締 (金銀糸が 5% を超えるもの)
101	(株) 猪井	新潟県長岡市	後染反物 (色無地)、後染帯地

表示者 登録番号	企 業 名	所 在 地	主 な 絹 製 品 名
102	(株) たちばな	新潟県新発田市	後染反物 (色無地)、後染帯地
103	(株) 丸富美	新潟県十日町市	後染反物 (色無地)
104	(有) 絹もの屋まつなが	新潟県三条市	後染反物 (色無地)
105	(株) 山正山崎	愛知県豊橋市	後染反物 (色無地、小紋 (変一越、紋意匠))
106	(有) こくぶん呉服店	福島県福島市	後染反物 (色無地)
107	(株) 染織近藤	岡山市北区	後染反物 (色無地、小紋 (変一越、紋意匠))
108	(株) 宮川呉服店	北海道湧別町	後染反物 (色無地、付下)
109	(株) 和らいふ	札幌市中央区	後染反物 (色無地)
110	(有) きものいなもと	大阪市天王寺区	後染反物 (色無地)
111	(株) 世きね	東京都中央区	後染反物
112	(株) 西陣まいづる	京都市上京区	先染帯地 (袋帯 (金銀糸が5%を超えるもの)、九寸帯 (金銀糸が5%を超えるもの)、紹九寸帯 (金銀糸が5%を超えるもの))
113	奥順 (株)	茨城県結城市	先染反物 (結城紬)、先染帯地 (結城紬)
114	りょうぜん天蚕の会	福島県伊達市	ショール (天蚕紬糸、天蚕ハイブリッド)
115	(有) 金屋	新潟県上越市	後染反物 (色無地)
116	(株) 鶴屋百貨店	熊本市中央区	胴裏 (酵素精練)、先染反物 (結城紬)
117	黄八丈めゆ工房	東京都八丈島	先染反物 (黄八丈)
118	京屋呉服店	長野県塩尻市	後染反物 (色無地)
119	(資) 車屋呉服店	横浜市南区	後染反物 (色無地、江戸小紋)、白生地 (表地)
120	宮崎 (株)	茨城県結城市	先染反物 (結城紬)
121	(有) 内海呉服店 きもの千歳屋	東京都世田谷区	白生地 (表地 (色無地、訪問着、紋意匠))
122	長島繊維 (株)	栃木県足利市	後染反物 (色無地、小紋、付下、訪問着)、後染帯地
123	(株) しょう美	広島市西区	後染反物 (色無地)
124	(資) 治田呉服店	群馬県富岡市	後染反物 (色無地)
125	(株) 丸十	大阪府東大阪市	後染反物 (小紋)、ニット (靴下)
126	(株) 竹田嘉兵衛商店	名古屋市緑区	胴裏 (酵素精練)
127	(有) 樋口屋京染店	埼玉県鴻巣市	白生地 (表地用 (紋意匠))
128	大門屋	福井県大野市	白生地 (牛首紬)、後染帯地 (牛首紬)、ショール (牛首紬)、先染反物 (飯田紬)、白生地着尺 (信州紬)
129	(株) 加藤萬	東京都中央区	和装小物 (帯揚げ、半衿)
130	(株) しゃらく	愛媛県新居浜市	後染反物 (小紋)
131	(資) 山中商店	名古屋市中区	後染反物 (小紋)
132	きもの処あだち	大阪府藤井寺市	後染反物 (小紋)
133	西川産業 (株)	東京都中央区	寝具寝装品 (掛布団)
134	繭工房華美	宮城県塩竈市	寝衣 (長肌着、短肌着)
136	(株) 和想	鳥取県鳥取市	後染反物 (小紋)
137	(株) 高島屋呉服店	島根県益田市	後染反物 (小紋)
138	富岡シルクブランド協議会	群馬県富岡市	ネクタイ、褌、マフラー (手織り)

表示者 登録番号	企 業 名	所 在 地	主 な 絹 製 品 名
139	(株) 丸年呉服店	石川県金沢市	後染反物 (小紋)
140	(株) 染織館	徳島県徳島市	後染反物 (小紋)
141	(株) 京ろまん	奈良県奈良市	後染反物 (小紋)、ニット (靴下)
142	五嶋 (株)	東京都文京区	帯締
143	(株) わふくや	浜松市中区	長襦袢地
144	(株) 布屋呉服店	静岡県富士宮市	胴裏 (トルマリン加工)、後染反物 (小紋 (変一越、紋意匠))
145	(有) 明石屋	東京都調布市	後染反物 (色無地)、後染帯地
146	宮井 (株)	京都市下京区	風呂敷
147	(株) ナカノ	大分県大分市	後染反物 (小紋 (変一越、紋意匠)、加賀友禅)
148	(株) 芦田呉服店	京都府綾部市	後染反物 (色無地、小紋 (変一越、紋意匠))
149	(株) 甲斐絹座	山梨県富士吉田市	ネクタイ、服飾品 (スカーフ、ストール、トランクス)、パジャマ、袷紗
151	(株) 西松屋	兵庫県姫路市	後染反物 (小紋 (変一越、紋意匠))
152	(株) 西尾呉服店	大阪市福島区	後染反物 (小紋 (変一越、紋意匠))
153	勝山織物 (株)	京都市北区	先染帯地 (金銀糸が5%を超えるもの)
154	(有) 石川	群馬県みどり市	後染反物 (型友禅、羽二重色無地)、先染反物 (ジャガード織)
156	那覇伝統織物事業協同組合	沖縄県那覇市	先染反物、先染帯地、かりゆしウェア、服飾品 (ショール)
157	(株) ふじや	福岡県朝倉市	後染反物 (小紋 (変一越、紋意匠))
158	きものおかだ	兵庫県香美町	後染反物 (小紋)
159	(株) J S	山梨県富士吉田市	寝具寝装品 (ふとん、ふとんカバー)、洋装品 (スーツ地、コート地、スカート地、シャツ、ワンピース地)、服飾品 (スカーフ、ストール、ネックカバー、アームカバー、レッグカバー)
160	(株) マルシバ	東京都中央区	裏地 (胴裏)、和装小物 (袷紗)、ネクタイ、帯地 (白塩瀬)
161	(株) みつわ	大阪府大東市	後染反物 (小紋)
162	福続織物 (株)	福岡市西区	先染帯地 (本袋男帯、八寸名古屋帯)
163	(株) 大谷屋	新潟市中央区	白生地 (表地)
164	(株) 東京藤屋 (きものレディ着付け学院)	東京都品川区	白生地 (表地)
166	近江真綿振興会	滋賀県米原市	寝具寝装品 (布団、膝かけ)、服飾品 (ショール)
167	(株) にしむら	兵庫県西脇市	後染反物 (小紋 (変一越、紋意匠))
168	(有) きものおおにし	大阪府東大阪市	後染反物 (小紋 (変一越、紋意匠))
169	(株) コノエ (そめの近江)	東京都豊島区	後染反物 (小紋 (変一越、紋意匠))、ニット (靴下)
170	(株) つたや	大阪府枚方市	後染反物 (小紋 (変一越、紋意匠))
171	(株) 京呉服小糸伸輔の店	熊本市東区	後染反物 (小紋 (変一越、紋意匠))
172	(株) マエノ	茨城県石岡市	後染反物 (小紋 (変一越、紋意匠))
173	(株) 本きもの松葉	大阪府富田林市	後染反物 (小紋 (変一越、紋意匠))
174	(有) 山田呉服店	長野県諏訪市	白生地 (変り縮緬)、先染反物 (大島紬)
175	(株) 呉服のながいけ	長崎県南島原市	後染反物 (小紋 (変一越、紋意匠))

表示者 登録番号	企 業 名	所 在 地	主 な 絹 製 品 名
176	(株) 京呉服平田	福井県福井市	後染反物 (小紋 (変一越、紋意匠))
177	(株) 布四季庵ヨネオリ	山形県米沢市	先染反物 (置賜紬)、服飾品 (ストール)
178	奄美島絹推進協議会	鹿児島県龍郷町	先染反物 (大島紬)、先染帯地 (大島紬)
179	(株) 宮坂製糸所	長野県岡谷市	先染帯地 (八寸名古屋帯)
180	(有) シンセイ	長野県松本市	ニット (腹巻、靴下)
181	(株) 百花	横浜市中区	後染反物 (小紋 (変一越))
182	京呉服好一 (株)	京都市北区	後染反物 (小紋 (変一越、紋意匠))
183	(株) パールトーン	京都市右京区	胴裏 (パールトーン加工)
184	きもの専科まさ井	兵庫県三木市	後染反物 (小紋 (変一越))
185	マテリアル ローブ 磨	東京都練馬区	後染反物 (小紋 (変一越))
186	(株) せんば呉服	兵庫県尼崎市	後染反物 (小紋 (変一越、紋意匠)、訪問着)、先染反物 (絰着尺)、後染帯地
187	(株) 三越伊勢丹	東京都新宿区	白生地 (表地)、帯締、羽織紐、帯締 (金銀糸が5%を超えるもの)、ジャケット地
188	青山きもの (株) (青山きもの学院)	東京都港区	白生地 (表地、夏物表地)
189	ニット青木 (株)	東京都品川区	ニット (スーツ・パンツ、スーツ・スカート、ジャケット、アンサンブル、インナー)
190	渡豊工房	山形県山辺町	先染反物 (綾御召 (男物、女物)、市松綾御召 (草木染め)、もじり織 (草木染)、もじり織、裏地 (紬八掛、駒八掛、紬駒八掛、紬綾八掛))、服飾品 (先染ストール (綾織草木染、もじり織草木染))
191	(株) リンクピース	福岡市博多区	後染反物 (小紋 (変一越、紋意匠))
192	(有) 新宮 (きもの宮下)	宮崎県宮崎市	後染反物 (小紋 (変一越))
193	アトリエ I T O 伊藤峯子	沖縄県那覇市	先染反物、先染帯地
194	遊生染織工房 築城則子	北九州市八幡東区	先染反物
195	杉浦晶子	愛知県高浜市	先染反物、先染帯地
196	(株) 夢工芸染の新井	東京都足立区	白生地 (変り縮緬)、先染反物 (大島紬)
197	(株) 嵯が野	埼玉県川越市	白生地 (変り縮緬)、先染反物 (大島紬)
198	(株) カインドウェア	東京都千代田区	服飾品 (ストール)、ネクタイ
199	(株) 新田	山形県米沢市	後染反物 (ぼかし着尺)
200	(株) ソーホー	京都市下京区	白生地 (紋意匠無地縮緬・紋意匠縮緬)、後染反物 (本加賀訪問着)、先染反物 (大島紬、御召)、先染帯地 (袋帯)、先染反物 (御召)
201	(株) すずのき	東京都品川区	後染反物 (訪問着・色無地)、白生地 (表地 (紋意匠))
202	メーカーズシャツ鎌倉 (株)	神奈川県鎌倉市	ニット (肌着)
203	(株) 丸本岩崎	北海道函館市	裏地 (胴裏絹)
204	(株) 緒方商店 (きもの心おがた)	愛媛県八幡浜市	後染反物 (小紋 (変一越、紋意匠))
205	富士新幸 (株)	山梨県都留市	真綿布団
206	(有) 浅井ローケツ	京都市右京区	後染反物 (色無地・藍染)

表示者 登録番号	企 業 名	所 在 地	主 な 絹 製 品 名
207	(有) 呉服のうめね	北九州市小倉北区	白生地 (変一越)
208	(株) ADESSO (きもの工房一休)	神戸市中央区	白生地 (変一越)
209	森秀織物 (株)	群馬県桐生市	先染反物 (御召)
210	(株) 龍村美術織物	京都市中京区	先染帯地 (本袋帯 (金銀糸が5%を超えるもの))
211	(株) 長沼 (長沼静きもの学院)	東京都渋谷区	後染反物 (小紋 (変一越、紋意匠))
212	(株) 国際商事	東京都板橋区	ショール
213	窪田織物 (株)	鹿児島県鹿児島市	先染反物 (大島紬、本場大島紬 (12 マルキ、15 マルキ))
214	村江菊絵 (菊江) (村江菊絵)	東京都目黒区	先染帯地、先染反物
215	片倉工業 (株)	東京都中央区	ニット (靴下)
216	村田捺染加工 (有)	群馬県桐生市	服飾品 (ストール)
217	(株) 京のきもの綾錦	京都市下京区	後染反物 (訪問着、小紋、色無地)
218	あや工房	沖縄県西原町	先染反物 (首里織)、先染帯地 (首里織)
220	万兵 (株)	名古屋市中区	白生地 (表地)
221	横山 (株)	京都市中京区	後染反物 (小紋・訪問着)
222	(株) カネヒサクリエーション	石川県金沢市	白生地 (表地)
223	柳晋哉	東京都世田谷区	先染反物、先染帯地
224	(株) 一声	京都市下京区	白生地 (表地)
225	(株) ヤマノホールディングス きもの事業本部	東京都渋谷区	後染反物 (小紋・訪問着)、白生地 (帯地、表地)
226	山口美術織物 (株)	京都市山科区	白生地 (表地・羽二重)
227	(株) 大醐	名古屋市中区	セリシン靴下、セリシン手袋
228	(株) 中忠商店	京都市上京区	セリシン靴下、セリシン手袋
229	(株) 帛撰	京都市北区	先染帯地 (名古屋帯、袋帯 (金銀糸が5%を超えるもの))
230	(株) 京朋	京都市中京区	白生地 (表地)
231	(有) 綵巧	京都市北区	先染反物 (御召)、先染帯地 (名古屋帯 (組帯))
232	ウライ (株)	京都市下京区	後染反物 (小紋)、後染帯地 (袋帯 (表地のみ))
233	大橋メリヤス	群馬県桐生市	服飾品 (ニットストール)
234	宮田織物 (株)	京都市北区	先染帯地 (袋帯 (金銀糸が5%を超えるもの))
235	(有) 中彦	京都市上京区	先染反物 (御袷裳 (五条袷裳))
236	大月俊幸	長野県安曇野市	先染帯地 (名古屋帯)、先染着尺 (信州紬)
237	久保原由佳理	長野県安曇野市	先染帯地 (名古屋帯)、先染着尺 (信州紬)
238	(株) やしま	広島県広島市	白生地 (表地 (紋意匠))
239	(株) 長谷川	京都市上京区	先染反物 (西陣お召)
240	永見 (株)	鳥取県米子市	白生地 (表地 (紋意匠))
241	京都和装 (株)	京都市下京区	白生地 (表地 (紋意匠))
242	(株) 前田源商店	山梨県富士吉田市	服飾品 (スカーフ、ストール)
243	近江真綿工房 原田	滋賀県米原市	寝具寝装品 (真綿ふとん (国産近江真綿ふとん))
244	昭和西川 (株)	東京都中央区	寝具寝装品 (真綿ふとん)
245	大迫織物 (株)	鹿児島県鹿児島市	先染反物 (大島紬)

表示者 登録番号	企 業 名	所 在 地	主 な 絹 製 品 名
246	玉城柳子	沖縄県南城市	先染反物(着尺(首里織))、先染帯地(首里織)
247	丸八生糸 (株)	京都市上京区	白生地 (表地)
248	(株) 高島織物	京都市北区	白生地 (表地)
249	くらしつむぐあとりえ	福井県坂井市	白生地(表地、帯地)、服飾品(ストール)
250	UGAAI	東京都世田谷区	洋装服地
251	石川県立津幡高等学校	石川県河北郡	白生地(牛首紬)、白生地(帯地(牛首紬))

月日	活 動 内 容 等
7/11	令和5年度全国シルクビジネス協議会通常総会 (WEB 会議)
7/11 ~ 14	夏休み「カイコを育てよう！ 2023」キャンペーン受付
8/1 ~ 5	「Silk × Joshibi ～夏めく絹物語～」展示会 (東京都有楽町 ジャパンシルクセンター)
8/7	第2回オーガニックシルク検討会 (全国シルクビジネス協議会の農林水産省補助事業関係) (東京都有楽町 蚕糸会館)
8/28	第2回トレーサビリティシステム検討会 (全国シルクビジネス協議会の農林水産省補助事業関係) (東京都有楽町 蚕糸会館)
8/29	純国産絹マーク審査会 (2023 年度第2次) (東京都有楽町 蚕糸会館)
9/8	夏休み「カイコを育てよう！ 2023」キャンペーン報告会 (WEB 会議)
9/27	蚕糸・絹業提携グループ全国連絡協議会臨時総会 (東京都有楽町 蚕糸会館)

蚕糸絹関係博物館一覧

名 称	〒	住 所	電 話
野外博物館北海道開拓の村	004-0006	北海道札幌市厚別区厚別町小野幌 50-1	011-898-2692
ひころの里「シルク館」	986-0782	宮城県本吉郡南三陸町入谷字桜沢 442	0226-46-4310
原始布・古代織参考館	992-0039	山形県米沢市門東町 1 丁目 1 - 16	0238-22-8141
米沢織物歴史資料館	992-0039	山形県米沢市門東町 1 丁目 1 - 87	0238-23-3525
夕鶴の里資料館 語り部の館	992-0474	山形県南陽市漆山 2025 - 2	0238-47-5800
松ヶ岡開墾記念館	997-0152	山形県鶴岡市羽黒町松ヶ岡 29	0235-62-3985
公益財団法人致道（ちどう）博物館	997-0036	山形県鶴岡市家中新町 10 - 18	0235-22-1199
酒田市美術館	998-0055	山形県酒田市飯森山三丁目 17 - 95	0234-31-0095
かわまたおりもの展示館	960-1406	福島県伊達郡川俣町大字鶴沢字東 13 - 1	024-565-4889
結城市伝統工芸館	307-0001	茨城県結城市大字結城 3018 - 1	0296-32-7949
紬の里	307-0001	茨城県結城市結城 2515	0296-32-8002
本場結城紬郷土館	307-0000	茨城県結城市浦町 116	0296-32-2121
本場結城紬染織資料館「手緒里」	307-0001	茨城県結城市結城 12-2	0296-33-3111
佐野市郷土博物館	327-0003	栃木県佐野市大橋町 2047	0283-22-5111
おやま本場結城紬クラフト館	323-0023	栃木県小山市中央町 3-7-1 ロブレビル 1F	0285-32-6477
足利織物伝承館	326-0814	栃木県足利市通 3-2589	0284-22-3004
足利まちなか遊学館	326-0814	栃木県足利市通 1-2673-1	0284-41-8201
足利織姫神社	326-0817	栃木県足利市西宮町 3889	0284-22-0313
那須野が原博物館	329-2752	栃木県那須塩原市三島 5 - 1	0287-36-0949
高崎市歴史民俗資料館	370-0027	群馬県高崎市上滝町 1058	027-352-1261
群馬県立歴史博物館	370-1293	群馬県高崎市綿貫 992 - 1（群馬の森公園内）	027-346-5522
おかいこステーション	370-3401	群馬県高崎市倉渕町権田 5344 - 1235	027-340-6060
群馬県立日本絹の里	370-3511	群馬県高崎市金古町 888 番地の 1	027-360-6300
富岡製糸場	370-2316	群馬県富岡市富岡 1 - 1	0274-64-0005
前橋市蚕糸記念館	371-0036	群馬県前橋市敷島町 262 番地（敷島公園バラ園内）	027-231-9875
織物参考館 “紫（ゆかり）”	376-0034	群馬県桐生市東 4 丁目 2 番 24 号	0277-45-3111
桐生織物記念館（桐生織物協同組合）	376-0044	群馬県桐生市永楽町 6 - 6	0277-43-2510
コノドント館みどり市大間々博物館	376-0101	群馬県みどり市大間々町大間々 1030	0277-73-4123
たくみの里	379-1418	群馬県利根郡みなかみ町須川 784	0278-64-2211
群馬県立世界遺産センター（セカイト）	370-2316	群馬県富岡市富岡 1450-1	0274-67-7821
片倉シルク記念館	360-0815	埼玉県熊谷市本石 2 丁目 135 番地	048-522-4316
ちちぶ銘仙館	368-0032	埼玉県秩父市熊木町 28-1	0494-21-2112
秩父ふるさと館	368-0044	埼玉県秩父市本町 3-1	0494-23-7300
きもの芸術館（一般財団法人国際文化きもの学会）	150-0002	東京都渋谷区渋谷 1-6-8 清水学園ビル 6F ～ 8F	03-3400-0286
文化学園服飾博物館	151-8529	東京都渋谷区代々木 3 - 22 - 7	03-3299-2387
調布市郷土博物館	182-0026	東京都調布市小島町 3 - 26 - 2	0424-81-7656
東京農工大学科学博物館	184-8588	東京都小金井市中町 2 - 24 - 16	042-388-7163
絹の道資料館	192-0375	東京都八王子市鎌水 989 - 2	0426-76-4064
桑都日本遺産センター 八王子博物館	192-0904	東京都八王子市子安町 4-7-1 サザンスカイトワー 3 階	042-622-8939

名 称	〒	住 所	電 話
町田市立博物館	194-0032	東京都町田市本町田 3562	042-726-7531
羽村市郷土博物館	205-0012	東京都羽村市羽 741	042-558-2561
シルク博物館	231-0023	横浜市中区山下町 1 番地シルクセンター内	045-641-0841
神奈川県立歴史博物館	231-0006	横浜市中区南仲通 5-60	045-201-0926
相模田名民家資料館	229-1124	相模原市緑区田名 4853 番 2 (大杉公園隣り)	042-761-7118
相模原市立博物館	252-0221	神奈川県相模原市中央区高根 3-1-15	042-750-8030
海老名市立郷土資料館「海老名市温故館」	243-0405	神奈川県海老名市国分南 1-6-36	046-233-4028
一般財団法人繊維産業会レイナープラザ(愛川繊維会館)	243-0307	神奈川県愛甲郡愛川町半原 4410	046-281-0356
愛川町郷土資料館	243-0307	神奈川県愛甲郡愛川町半原 5287 (県立あいかわ公園内)	046-280-1050
小千谷織物工房 小千谷織物同業協同組合	947-0028	新潟県小千谷市城内 1-8-25 小千谷市総合産業会館サンプラザ内	0258-83-2329
手織りの館	947-0028	新潟県小千谷市城内 1 - 8 - 25	0258-83-4800
十日町市博物館	948-0072	新潟県十日町市西本町 1	0257-57-5531
塩沢つむぎ記念館(織の文化館)	949-6408	新潟県南魚沼市塩沢 1227 - 14	0257-82-4888
白山工房(織りの資料館)	920-2501	石川県白山市白峰村又 17	076-259-2859
はたや記念館ゆめおーれ勝山	911-0802	福井県勝山市昭和町 1 - 7 - 40	0779-87-1200
豊富郷土資料館	400-1513	山梨県中央市大鳥居 1619 - 1	055-269-3399
須坂市立博物館	382-0028	長野県須坂市臥竜 2 丁目 4 番 1 号臥竜公園内	026-245-0407
常田館(絹の資料館)	386-0018	長野県上田市常田 1 - 10 - 3 笠原工業(株)内	0268-22-1230
繊維学部資料館	386-8567	長野県上田市常田 3-15-1 信州大学繊維学部内	0268-21-5454
上田市立博物館	386-0026	長野県上田市二の丸 3 番 3 号(上田城跡公園内)	0268-22-1274
上田市丸子郷土博物館	386-0413	長野県上田市東内 2564 - 1	0268-42-2158
絹糸紡績資料館	386-0498	長野県上田市上丸子 1078 シナノケンシ(株)内	0268-41-1800
長野県立歴史館	387-0007	長野県千曲市大字屋代字清水、科野の里歴史公園内	026-274-2000
海野宿歴史民俗資料館	389-0518	長野県東御市本海野 1098	0268-64-1000
日本司法博物館(松本歴史の里)	390-0852	長野県松本市島立小柴 2196 - 1	0263-47-4515
岡谷蚕糸博物館(シルクファクトおかや)	394-0021	長野県岡谷市郷田 1 丁目 4 番 8 号	0266-23-3489
駒ヶ根シルクミュージアム	399-4321	長野県駒ヶ根市東伊那 482 番地	0265-82-8381
安曇野市天蚕センター	399-8301	長野県安曇野市穂高有明 3618 - 24	0263-83-3835
美濃加茂市民ミュージアム	505-0004	岐阜県美濃加茂市蜂屋町上蜂屋 3299 - 1	0574-28-1110
豊田市稲武郷土資料館ちゅーま	441-2524	愛知県豊田市黒田町南水別 713	0565-82-3439
豊橋市民俗資料収蔵室	440-0021	愛知県豊橋市多米町滝の谷 34-1-1	0532-63-2026
三重中央農協郷土資料館	515-2504	三重県津市一志町高野 1204 - 1	059-293-0010
手おりの里、金剛苑	529-1204	滋賀県愛知郡愛荘町蚊野 514	0749-37-4131
織物文化館	601-1123	京都市左京区静海市原町 265 川島織物セルコン内	075-741-4120
西陣織会館	602-8216	京都市上京区堀川通り今出川南入	075-451-9231
(公財)手織技術振興財団・織成館	602-8482	京都市上京区浄福寺通上立売上る大黒町 693 番地	075-431-0020
千總ギャラリー	604-8166	京都市中京区御倉町 80 番地千總本社ビル 2 階	075-211-2531
絹の白生地資料館	604-8176	京都市中京区龍池町 448 - 2 伊と幸ビル	075-254-5884

名 称	〒	住 所	電 話
まゆ村	616-8384	京都市右京区嵯峨天龍寺造路町	075-882-0564
グンゼ博物苑	623-0011	京都府綾部市青野町 グンゼ（株）周辺敷地内	0773-43-1050
織元田勇	629-3104	京都府京丹後市網野町浅茂川 112 田勇機業（株）内	0772-72-0307
上垣守国（うえがきもりくに）養蚕記念館	667-0321	兵庫県養父市大屋町蔵垣 246 - 2	079-669-1580
デザイン・クリエイティブセンター神戸 (KIITO)	651-0082	神戸市中央区小野浜町 1-4	078-325-2201
西予市野村シルク博物館	797-1212	愛媛県西予市野村町野村 8 号 177 番地 1	0894-72-3710
蚕糸資料館	781-1301	高知県高岡郡越知町越知甲 1577 番地	0889-26-1002
藤村製絲記念館	781-6402	高知県安芸郡奈半利町乙 2630	0887-38-4711
美馬蚕糸会館	771-2107	徳島県美馬市美馬町谷口 5-1	0883-63-2502
アヤミハビル館	907-1801	沖縄県八重山郡与那国町与那国 2114	0980-87-2440

蚕糸絹関係機関ホームページ一覧

【行 政】

農林水産省
経済産業省

<http://www.maff.go.jp>
<http://www.meti.go.jp>

【蚕糸絹業関係団体】

(一社) 日本絹人織織物工業会
(一財) 日本真綿協会
丹後織物工業組合
西陣織工業組合
T A F S (東京織物卸商業組合)
K O M S (京都織物卸商業組合)
(公財) 京都和装産業振興財団
(一財) 伝統的工芸品産業振興協会
全国シルクビジネス協議会

<http://www.kinujinsen.com>
<http://www.mawata.or.jp>
<http://www.tanko.or.jp>
<http://www.nishijin.or.jp>
<http://www.tafs.or.jp>
<http://www.fashion-kyoto.or.jp>
<https://www.wasou.or.jp>
<http://www.kougeihin.jp>
<https://japan-silk.org>

【大学・試験研究機関】

(国研) 農業・食品産業技術総合研究機構 <http://www.naro.affrc.go.jp>
(国) 北海道大学応用分子生物学分野応用分子昆虫学研究室 <http://www.agr.hokudai.ac.jp/rfoa/abs/abs2-1.html>
(国) 宇都宮大学農学部分子昆虫学研究室 <http://shigen.mine.utsunomiya-u.ac.jp/insectbiotechnology/>
(国) 東京大学大学院農学生命科学研究科生産・環境生物学専攻昆虫遺伝研究室 <http://papilio.ab.a.u-tokyo.ac.jp/igb/index-J.html>
(国) 東京農工大学農学部生物生産学科蚕学研究室 <http://www.tuat.ac.jp/~kaiko>
(国) 東京農工大学工学部生命工学科 <http://www.tuat.ac.jp/~seimei>
(国) 名古屋大学農学部 <http://www.agr.nagoya-u.ac.jp>
(国) 信州大学繊維学部 <http://www.tex.shinshu-u.ac.jp>
(国) 京都工芸繊維大学工芸科学部応用生物学課程 <http://www.bio.kit.ac.jp>
(国) 鳥取大学農学部生物資源環境学科昆虫機能学教育研究分野 <http://muses.muses.tottori-u.ac.jp>
(国) 山口大学農学部生物資源環境科学府蚕学研究室 <http://www.agr.yamaguchi-u.ac.jp/bioenvi/research2.html>
(国) 九州大学大学院生物資源環境科学府蚕学研究室 <http://www.agr.kyushu-u.ac.jp/lab/sangaku>
(国) 九州大学大学院農学研究院遺伝子資源開発研究センター家蚕遺伝子開発分野 <http://www.agr.kyushu-u.ac.jp/lab/sanshi/insect/top.html>
群馬県蚕糸技術センター <http://www.pref.gunma.jp/07/p14710007.html>
群馬県繊維工業試験場 <http://www.pref.gunma.jp/07/p20210013.html>
京都府織物・機械金属振興センター <http://www.pref.kyoto.jp/oriki>
(地独) 京都市産業技術研究所 <http://www.tc-kyoto.or.jp>
(公財) 衣笠繊維研究所 <http://krf-textile.com>

【学 会】

日本シルク学会
(一社) 日本蚕糸学会
日本野蚕学会

<http://jsst.sakura.ne.jp>
<http://jsss.or.jp>
<https://jsws-yasan.com>

【博物館等】

(一財) シルクセンター国際貿易観光会館 シルク博物館
群馬県立日本絹の里
愛媛県西予市野村シルク博物館
東京農工大学科学博物館
駒ヶ根シルクミュージアム
岡谷蚕糸博物館 (シルクファクトおかや)
はたや記念館ゆめおーれ勝山

<https://www.silkcenter-kbkk.jp/museum/>
<https://www.nippon-kinunosato.or.jp>
<https://www.city.seiyo.ehime.jp/miryoku/silkhakubutsukan>
<https://www.tuat-museum.org>
<https://komagane-silk.com/>
<https://silkfact.jp>
<https://www.city.katsuyama.fukui.jp/hataya>

【博物館等】

美馬蚕糸館

野外博物館 北海道開拓の村

富岡製糸場

群馬県立世界遺産センター

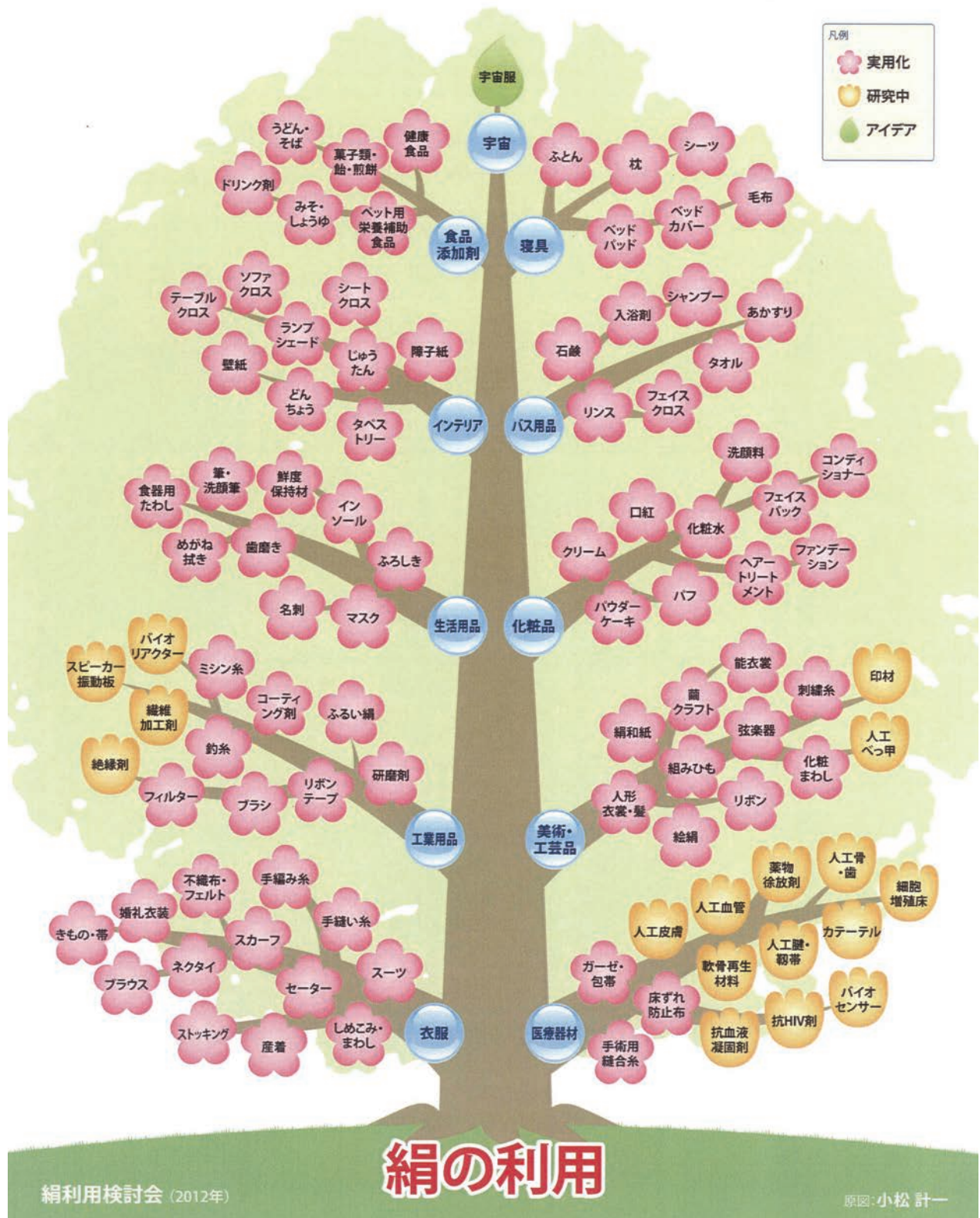
<https://mimasanshikan.wixsite.com/mimasanshikan>

<https://www.kaitaku.or.jp>

<https://www.tomioka-silk.jp/tomioka-silk-mill/>

<https://worldheritage.pref.gunma.jp/whc/>

絹利用の系統樹



統計資料の年間掲載計画

＜国内＞	1月号	4月号	7月号	10月号
(1) 蚕糸絹業の概要	○	○	○	○
(2) 養蚕農家数	○	○	○	○
(3) 繭生産数量の推移	○	○	○	○
(4) 蚕期別、都府県別養蚕農家戸数		○		
(5) 蚕期別、都府県別繭生産数量		○		
(6) 蚕品種別蚕種製造数量の推移		○		
(7) 生糸需給及び絹糸・絹織物の輸出入状況	○	○	○	○
(8) 生糸の織度別生産数量の推移		○		○
(9) 絹需給の推移(生産量換算試算)	○	○	○	○
(10) 品目別・二次製品輸入数量(生糸量換算試算)		○		
(11) 製糸工場の原料繭需給	○	○	○	○
(12) 製糸工場の操業状況	○	○	○	○
(13) 生糸在庫数量の内訳	○	○	○	○
(14) 蚕糸関係品目別輸入状況		○		
(15) 生糸の原産国別輸入数量		○		○
(16) 絹糸の原産国別輸入数量		○		○
(17) 生糸・絹糸の主要輸入国からの輸入数量と単価		○		○
(18) 絹織物生産数量	○	○	○	○
(19) 丹後・長浜・西陣の絹織物生産数量	○	○	○	○
＜海外＞				
(1) 世界主要国の家蚕繭生産数量	○	○	○	○
(2) 世界主要国の家蚕生糸生産数量		○		
(3) 中国繭絲綢交易市場における各種シルク現物価格	○	○	○	○

統計資料目次

<国内>

(1) 蚕糸絹業の概要	40
(2) 養蚕農家数の推移	41
(3) 繭生産数量の推移	42
(4) 蚕期別、都府県別養蚕農家戸数	
(5) 蚕期別、都府県別繭生産数量	
(6) 蚕品種別蚕種製造数量の推移	
(7) 生糸需給及び絹糸・絹織物の輸出入状況	43
(8) 生糸の織度別生産数量の推移	44
(9) 絹需給の推移（生糸量換算試算）	45
(10) 品目別・二次製品輸入数量（生糸量換算試算）	
(11) 製糸工場の原料繭需給	46
(12) 製糸工場の操業状況	47
(13) 生糸在庫数量の内訳	48
(14) 蚕糸関係品目別輸入状況	
(15) 生糸の原産国別輸入数量	49
(16) 絹糸の原産国別輸入数量	50
(17) 生糸・絹糸の主要輸入国からの輸入数量と単価	51
(18) 絹織物生産数量	52
(19) 丹後・長浜・西陣の絹織物生産数量	53

<海外>

(1) 世界主要国の家蚕繭生産数量	54
(2) 世界主要国の家蚕生糸生産数量	
(3) 中国繭絲綢交易市場における各種シルク現物価格	55

一 資料・国内一

(1) 蚕糸絹業の概要

Outline of Sericultural, Silk-Reeling, and Silk Fabric Industry in Japan

項目 Item 暦年 Calendar Year	養蚕業 Sericultural Industry			製糸業 Silk-Reeling Industry			絹業 Silk Fabric Industry	
	養蚕農家 戸数 Number of Silk- Raising Farmer	収繭量 Cocoon Production	1戸当 収繭量 Cocoon Production per Farmer	生糸 生産量 Raw Silk Production	運転 工場数 Number of Mills	稼働率 Operation ratio	絹人織機 設備台数 (保有台数) Number of Silk Loom	絹織物 生産量 Silk Fabric Production
	戸 Number	トン t	kg	千俵 1,000 Bale of 60kg	工場 Number	%	千台 1,000	千㎡ 1,000 sq. meters
2000	3,280	1,244	379	9.3	8	67	62.9	32,275
2005	1,591	626	393	2.5	10	62	43.7	19,816
2010	756	265	351	0.9	7	49	35.9	3,611
2011	627	220	351	0.7	7	52	34.7	3,152
2012	571	202	354	0.5	7	35	33.3	2,912
2013	486	168	346	0.4	9	35	32.0	2,940
2014	393	149	379	0.4	9	35	—	2,734
2015	368	135	367	0.4	8	30	—	2,316
2016	349	130	372	0.3	8	26	—	2,243
2017	336	125	372	0.3	8	28	—	2,195
2018	293	110	375	0.3	8	46	—	2,113
2019	264	92	348	0.3	8	36	—	1,939
2020	228	80	351	0.2	8	31	—	1,214
2021	186	61	328	0.2	7	20	—	1,319
2022	163	51	313	0.2	7	22	—	1,444
前年比(%) 2022/2021	87.6	83.6	95.4	100.0	100.0	110.0	—	109.5

資料 ・ 2008年以前の養蚕業及び製糸業は、農林水産省調査によるものである。

・ 2009年以降の養蚕業は、全国農業協同組合連合会及び(一財)大日本蚕糸会調査、2011年以降は(一財)大日本蚕糸会調査である。

・ 2009年以降の製糸業は、中央蚕糸協会及び(社)日本生糸問屋協会調査、2018年11月以降は(一財)大日本蚕糸会調査である。

・ 2008年以前の絹業は経済産業省調査であり、2009年以降絹業は(一社)日本絹人織織物工業会調査である。

(注) 2006年以降の絹織物生産量は、絹紡織物を含む。

(注) 製糸業の運転工場数及び稼働率は器械製糸工場の操業状況であるが、2002年以降はすべての製糸工場のものである。

Source: ・ Ministry of Agriculture, Forestry and Fisheries (MAFF) (Sericultural and Silk-Reeling, before 2008)

・ National Federation of Agricultural Co-operative Associations and the Dainippon Silk Foundation (Sericultural Industry, after 2009). The Dainippon Silk Foundation (after 2011)

・ Central Raw Silk Association and Japan Raw Silk Dealer's Association (Silk-Reeling, after 2009) The Dainippon Silk Foundation (after Nov. 2018)

・ The Ministry of Economy Trade and Industry (Silk Fabric, before 2008). Japan Silk & Rayon Weaver's Association (after 2009)

Note: Silk Fabric Production from 2006 includes spun silk fabrics.

Note: The number of operating mills and operation ratio are of machine reeling mills. (After 2002, all reeling mills)

(2) 養蚕農家数の推移

Farm households raising silk-worm

(単位：戸)
(Unit: number)

項 目 Item 暦 年 Calendar Year	年 間 Annual total	春 蚕 Spring silk-worm	初秋蚕 Early autumn silk-worm	晩秋蚕 Late autumn silk-worm
2000	3,280	2,970	2,170	2,700
2005	1,591	1,420	1,061	1,345
2010	756	650	494	637
2011	627	562	358	531
2012	571	514	319	462
2013	486	422	260	399
2014	393	359	230	328
2015	368	323	221	313
2016	349	310	209	310
2017	336	307	201	280
2018	293	254	179	262
2019	264	233	153	224
2020	228	205	129	188
2021	186	161	98	156
2022	163	146	89	142
前年比(%) 2022/2021	87.6	90.7	90.8	91.0

資料：農林水産省統計情報部（～2001年） 全国農業協同組合連合会（2002年～2004年）

農林水産省生産局（2005年～2008年）（一財）大日本蚕糸会（2009年～）

Source: The Statistics and Information Department, Ministry of Agriculture, Forestry and Fisheries (～2001).

National Federation of Agricultural Co-operative Associations (2002～2004).

The Agricultural Production Bureau, Ministry of Agriculture, Forestry and Fisheries (2005～2008).

The Dainippon Silk Foundation (2009～).

(3) 繭生産数量の推移 Cocoon Production

項目 Item 暦年 Calendar Year	年 計 Annual total				1戸当り収繭量 Cocoon production per farm household raising silk-worm			
	年 間 Annual total	春 蚕 Spring silk-worm	初秋蚕 Early autumn silk-worm	晩秋蚕 Late autumn silk-worm	年 間 Annual total	春 蚕 Spring silk-worm	初秋蚕 Early autumn silk-worm	晩秋蚕 Late autumn silk-worm
	t	t	t	t	kg	kg	kg	kg
2000	1,244	500	320	424	379	169	148	157
2005	626	243	165	218	396	171	156	162
2010	265	107	60	98	351	165	121	154
2011	220	95	49	76	351	169	136	143
2012	202	79	50	73	354	155	156	159
2013	168	61	41	67	346	145	158	168
2014	149	55	36	58	379	153	157	176
2015	135	49	32	54	368	151	147	174
2016	130	47	32	50	372	153	155	162
2017	125	47	29	49	372	153	144	175
2018	110	41	24	46	375	161	134	176
2019	92	35	22	35	348	150	144	156
2020	80	31	19	30	351	151	147	160
2021	61	22	15	24	328	137	153	154
2022	51	20	13	18	313	137	146	127
前年比 (%) 2022/2021	83.6	91.4	86.2	75.0	95.4	99.8	95.4	82.5
2022年 構成比 (%)	100.0	39.5	24.7	35.9				

資料：農林水産省統計情報部（～2001年） 全国農業協同組合連合会（2002年～2004年）

農林水産省生産局（2005年～2008年） （一財）大日本蚕糸会（2009年～）

Source：The Statistics and Information Department, Ministry of Agriculture, Forestry and Fisheries (～2001).

National Federation of Agricultural Co-operative Associations (2002～2004).

The Agricultural Production Bureau, Ministry of Agriculture, Forestry and Fisheries (2005～2008).

The Dainippon Silk Foundation (2009～).

(7) 生糸需給及び絹糸・絹織物の輸出入状況

Raw Silk Supply / Demand Balance and Import/Export of Silk Yarn and Silk Fabric

項 目 Year & Month	生 糸 Raw Silk					絹 糸 Silk Yarn		絹 織 物 Silk Fabrics	
	生産数量 Production (A)	輸入数量 Imports (B)	輸出数量 Exports (C)	国内引渡数量 Domestic Deliveries (D)	期末在庫数量 Ending Stocks (E)	輸入数量 Imports (F)	輸出数量 Exports (G)	輸入数量 Imports (H)	輸出数量 Exports (I)
暦 年 Calendar Year	俵 Bales of 60kg	俵 Bales of 60kg	俵 Bales of 60kg	俵 Bales of 60kg	俵 Bales of 60kg	俵 Bales of 60kg	俵 Bales of 60kg	1000SM	1000SM
2015	378	6,479	0	7,194	1,410	14,051	302	5,468	5,085
2016	317	6,548	0	6,869	1,406	12,094	177	5,207	4,940
2017	339	7,560	1	7,557	1,747	14,560	245	4,897	4,785
2018	339	5,038	1	5,793	1,330	11,092	213	4,151	4,854
2019	269	4,852	4	5,018	1,429	10,920	165	3,893	4,750
2020	203	2,443	0	3,009	1,066	6,226	167	2,551	3,635
2021	160	3,067	0	3,425	868	6,136	144	2,753	3,850
2022	168	3,646	1	3,754	927	7,945	182	2,803	3,726
2021 - 1	11	123	0	141	1,059	428	6	273	286
2	14	118	0	175	1,016	504	4	199	299
3	16	371	0	414	989	339	7	223	379
4	12	5	0	121	885	451	5	253	363
5	12	506	0	479	924	460	20	202	351
6	13	178	0	200	915	619	13	251	377
7	13	266	0	303	891	772	12	242	281
8	12	244	0	234	913	585	9	188	198
9	12	389	0	470	844	433	9	251	231
10	14	219	0	236	841	451	14	216	390
11	18	323	0	313	869	480	21	231	306
12	13	322	0	336	868	614	24	218	390
2022 - 1	12	379	0	436	823	588	2	264	233
2	8	222	0	199	854	484	32	162	316
3	19	541	0	481	933	667	33	178	348
4	15	—	1	159	788	412	30	214	355
5	13	500	0	476	825	857	7	256	326
6	15	426	0	313	953	703	7	256	355
7	12	291	0	333	923	893	19	227	330
8	16	473	0	411	1,001	764	17	224	290
9	16	149	0	222	944	688	10	248	283
10	14	187	0	347	798	642	4	262	323
11	12	297	0	227	880	739	9	287	310
12	16	180	0	149	927	509	11	226	258
2023 - 1	13	271	0	345	866	650	10	209	182
2	10	179	0	270	785	309	10	118	285
3	14	295	0	272	822	705	15	221	316
4	17	—	0	142	697	514	9	222	292
5	14	460	0	474	667	742	2	221	289
6	15	221	0	126	777	791	12	205	291
7	11	218	0	280	726	578	23	230	258

資料：(A) (C) (D) (E) 農林水産省生産局（～2010.3） 中央蚕糸協会及び日本生糸問屋協会（2010.4～2012.11）

中央蚕糸協会（2012.12～2018.10）（一財）大日本蚕糸会（2018.11～）(B) (F) (G) (H) (I) 財務省関税局

備考：1. 国内引渡数量(D) = {前月在庫数量+(A)+(B)} - {(C)+(E)}。

2. kgを60kg俵に換算しているため、各月の計と合計とが一致しない場合がある。

3. (D)と(E)は2012年11月までと同年12月以降調査方法が変更したため連続性はない。

Source：(A) (C) (D) (E) The Agricultural Production Bureau, Ministry of Agriculture, Forestry and Fisheries
（～2010.3）、Central Raw Silk Association and Japan Raw Silk Dealer's Association (2010.4～2012.11)、
Central Raw Silk Association (2012.12～2018.10). The Dainippon Silk Foundation (2018.11～)
(B) (F) (G) (H) (I) The Customs Bureau, Ministry of Finance.

Remarks：1. Domestic deliveries (D) = {Stock at end of the previous month + (A) + (B)} - {(C) + (E)}.

2. Monthly volume may not add up the total volume due to round off.

(8) 生糸の織度別生産数量の推移
Raw Silk Production by Sizes

(単位：60kg俵)
(Unit: Bales of 60kg)

項目 Item 年 月 Year & Month	生 糸					
	計	18デニール以下	21デニール	27デニール	31デニール	その他
	Total	17/19or 17/19 finer	20/22	26/28	30/32	Others
暦 年						
Calendar Year						
2015	378	0	146	86	36	110
2016	317	0	98	103	38	78
2017	339	0	107	95	53	84
2018	339	0	106	104	65	63
2019	269	1	102	46	30	90
2020	203	1	51	76	4	71
2021	160	0	39	52	10	59
2022	168	0	38	50	12	68
2021 - 1	11	—	6	0	0	5
2	14	—	4	3	0	7
3	16	—	5	6	0	5
4	12	—	6	2	0	4
5	12	—	2	5	0	5
6	13	—	1	8	0	4
7	13	—	2	5	0	6
8	12	—	3	5	0	4
9	12	—	1	7	2	2
10	14	—	1	5	2	6
11	18	—	3	5	3	7
12	13	—	5	1	3	4
2022 - 1	12	—	4	4	1	3
2	8	—	3	3	0	2
3	19	—	5	7	0	7
4	15	—	0	7	5	3
5	13	—	0	8	0	5
6	15	—	2	7	0	6
7	12	—	3	2	1	6
8	16	—	4	2	1	9
9	16	—	5	4	1	6
10	14	—	5	4	0	5
11	12	—	5	2	1	4
12	16	—	2	0	2	12
2023 - 1	13	—	3	3	2	5
2	10	—	0	4	4	2
3	14	—	2	5	4	3
4	17	—	3	2	2	10
5	14	—	5	4	1	4
6	15	—	5	3	0	7
7	11	—	6	2	0	3

資料：農林水産省生産局（～2010.3） 中央蚕糸協会（2010.4～2018.10）（一財）大日本蚕糸会（2018.11～）

備考：kgを60kg俵に換算しているため、各月の計と合計とが一致しない場合がある。

Source: The Agricultural Production Bureau, Ministry of Agriculture, Forestry and Fisheries (～2010.3).

Central Raw Silk Association (2010.4～2018.10). The Dainippon Silk Foundation (2018.11～)

Remarks: Monthly volume may not add up the total volume due to round off.

(9) 絹需給の推移（生糸量換算試算）

Silk Supply and Demand Balance (Raw Silk Value Estimation)

(単位：千俵)

(Unit: 1,000Bales of 60kg)

項目 Item 曆年 Calendar Year	供給計 Supply Total ①								需要計 Demand Total ②=①-④							期末
	期初 在庫 Opening Stocks	生 産 Produc- tion	輸 入 Import					計 ③ Total	輸 出 Export				内 需 Domestic Demand ②-③	在 庫 Ending Stocks ④		
			計 Total	生 糸 Raw Silk	絹 糸 Silk Yarn	織 物 Fabrics	二 次 The Second		生 糸 Raw Silk	絹 糸 Silk Yarn	織 物 Fabrics	二 次 The Second				
2000	376	119	9	248	39	32	28	149	263	16	0	0	14	2	247	113
2005	354	85	3	266	22	33	30	181	270	27	4	1	21	1	243	84
2010	225	47	1	177	12	16	16	133	182	16	0	0	15	1	166	43
2011	227	43	1	183	9	18	14	142	180	16	0	0	15	1	164	47
2012	230	47	1	182	10	16	14	142	184	15	0	0	14	1	169	46
2013	248	46	0	202	9	16	13	164	203	14	0	0	13	1	189	45
2014	225	45	0	180	8	15	12	145	180	14	0	0	13	1	166	45
2015	221	45	0	176	6	14	11	145	176	17	0	0	12	5	159	45
2016	240	45	0	195	7	12	14	162	195	15	0	0	9	6	180	45
2017	239	45	0	194	8	15	9	162	194	21	0	0	11	10	172	45
2018	205	45	0	160	5	11	8	135	160	26	0	0	10	16	134	45
2019	206	45	0	161	5	11	8	137	161	25	0	0	10	15	136	45
2020	182	45	0	137	2	6	6	123	137	27	0	0	8	19	110	45
2021	175	45	0	130	3	6	6	115	130	24	0	0	8	16	106	45
2022	173	45	0	128	4	8	6	110	128	22	0	0	8	14	106	45
前年比 (%) 2022/ 2021	99	100	—	98	119	129	103	96	98	92	—	—	100	87	100	100

資料：蚕糸業需給・価格動向隔月報・繊維統計月報・日本貿易月報

備考：2013年から期末在庫を45千俵とする。

Source: "Silk balance and price situation monthly", "Trade Statistics"

(11) 製糸工場の原料繭需給

Balance of Cocoons as Raw Materials by Reeling Mills (単位：生繭. t)

(Unit: Ton by fresh weight)

年 月 Year & Month	項 目 Item	総 計 Grand Total		
		受入数量 Receipts	消費数量 Put in Process	期末在庫数量 Ending Stocks
暦 年 Calendar Year				
2015		116	159	115
2016		115	110	120
2017		103	120	103
2018		92	117	78
2019		89	97	70
2020		72	73	69
2021		55	57	67
2022		46	59	54
2021 -	1	0	4	65
	2	0	4	60
	3	0	5	54
	4	0	4	50
	5	0	4	46
	6	14	5	55
	7	6	5	56
	8	10	5	61
	9	3	5	59
	10	19	5	73
	11	4	7	70
	12	1	4	67
2022 -	1	0	4	62
	2	1	3	60
	3	0	7	53
	4	0	5	48
	5	1	5	44
	6	10	5	49
	7	8	5	52
	8	7	5	54
	9	1	6	49
	10	18	5	62
	11	1	4	59
	12	0	5	54
2023 -	1	0	4	49
	2	0	4	44
	3	2	5	41
	4	0	5	37
	5	0	4	33
	6	9	5	34
	7	10	4	40

資料：中央蚕糸協会 (2012. 12～2018. 10) (一財) 大日本蚕糸会 (2018. 11～)

備考：1. 本表は上繭及び玉屑繭の合計である。

2. 受入数量=本月末在庫数量+消費数量-前月末在庫数量。

Source：Central Raw Silk Association (2012. 12～2018. 10). The Dainippon Silk Foundation (2018. 11～)

Remarks：1. This table includes reelable, douppion and waste cocoons.

2. Receipts=(Ending stocks of the current month)+(put in process)-(Ending stocks of the preceding month).

(12) 製糸工場の操業状況 Activities of Reeling Mills

年 月 Year & Month	項 目 Item	運轉工場数 Operating Reeling Mills	設 備 数(台) Reeling Machines		運 転 率 (%) Operating Ratio	操業日数 Days Operated	従業者数 Number of Workers
			運轉可能 Operable	運 転 Operating			
暦 年 Calendar Year							
	2015	8	110	33	30	263	53
	2016	8	110	29	26	267	55
	2017	8	110	31	28	266	59
	2018	8	74	34	46	253	57
	2019	8	74	27	36	239	51
	2020	8	74	23	31	218	48
	2021	7	74	15	20	214	43
	2022	7	64	14	22	230	41
2021 -	1	6	74	16	22	14	38
	2	6	74	21	28	14	38
	3	6	74	21	28	18	35
	4	6	74	15	20	16	35
	5	6	74	13	18	15	35
	6	7	74	12	16	22	37
	7	7	74	12	16	22	37
	8	7	74	7	9	17	37
	9	7	74	12	16	18	43
	10	7	74	12	16	22	44
	11	7	74	18	24	17	43
	12	7	74	16	22	19	43
2022 -	1	6	74	10	14	15	35
	2	6	74	14	19	14	35
	3	6	74	17	23	23	35
	4	6	74	19	26	19	35
	5	6	74	16	22	17	34
	6	6	74	12	16	21	34
	7	6	74	13	18	22	36
	8	6	74	13	18	18	33
	9	7	44	18	41	21	41
	10	7	44	13	30	21	40
	11	7	44	12	27	19	40
	12	7	44	14	32	20	41
2023 -	1	7	44	15	34	16	42
	2	7	44	16	36	17	40
	3	7	44	17	39	21	42
	4	7	44	15	34	21	34
	5	7	44	15	34	21	34
	6	7	44	17	39	21	44
	7	7	44	15	34	22	44

資料：中央蚕糸協会(2012.12～2018.10) (一財)大日本蚕糸会(2018.11～)

備考：1. 設備数中の運転可能及び運転台数は毎月の算術平均である。

2. 運転率は運転可能台数に対する運転台数の比率である。

3. 従業者数は期末現在の在籍従業員数である。

Source：Central Raw Silk Association(2012.12～2018.10).The Dainippon Silk Foundation (2018.11～)

Remarks：1.The number of operable and operating reeling machines is arithmetic means of monthly figures.

2.Operating ratio means ratio of operating machines in operable machines.

3.Number of workers are those on payroll as of end of period.

(13) 生糸在庫数量の内訳
Breakdown of Raw Silk Stocks

(単位 : 60kg俵)
(Unit : Bales of 60kg)

項目 Item 年 月 Year & Month	計	製糸工場	生糸市場外 売買業者	生糸輸出入業者
暦 年 Calendar Year	Total	Filatures Mills	Domestic Dealers	Ex and Importers
2015	1,410	94	1,316	
2016	1,406	130	1,276	
2017	1,747	156	1,591	
2018	1,330	230	1,100	
2019	1,429	238	1,191	
2020	1,066	178	888	
2021	868	170	698	
2022	927	127	800	
2021 - 1	1,059	182	877	
2	1,016	183	833	
3	989	189	800	
4	885	183	702	
5	924	186	738	
6	915	186	729	
7	891	184	707	
8	913	185	728	
9	844	182	662	
10	841	174	667	
11	869	175	694	
12	868	170	698	
2022 - 1	823	163	660	
2	854	160	694	
3	933	163	770	
4	788	160	628	
5	825	155	670	
6	953	146	807	
7	923	131	792	
8	1,001	134	867	
9	944	135	809	
10	798	134	664	
11	880	125	755	
12	927	127	800	
2023 - 1	866	129	737	
2	785	125	660	
3	822	131	691	
4	737	138	599	
5	667	138	529	
6	777	143	634	
7	726	142	584	

資料 : 中央蚕糸協会 (2012.12~2018.10) (一財) 大日本蚕糸会 (2018.11~)

Source : Central Raw Silk Association (2012.12~2018.10). The Dainippon Silk Foundation (2018.11~)

(15) 生糸の原産国別輸入数量
Raw Silk Imports

(単位 : 60 k g 俵)
(Unit : Bales of 60kg)

国 名 Country	計 Total	中国 China	ブラジル Brazil	ベトナム Vietnam	タイ Thailand	その他 Others
年 月 Year & Month						
暦 年 Calendar Year						
2015	6,479 (58)	5,569 (49)	887 (9)	20	2	—
2016	6,546 (52)	5,378 (44)	1,142 (8)	24	2	—
2017	7,560 (68)	6,008 (62)	1,456 (5)	91	2	1
2018	5,038 (51)	3,484 (46)	1,446 (5)	50	59	—
2019	4,852 (67)	3,620 (51)	1,228 (13)	—	3 (3)	—
2020	2,443 (30)	1,294 (25)	1,145 (5)	—	—	4
2021	3,067 (31)	1,852 (25)	1,182 (5)	—	—	—
2022	3,646 (45)	2,402 (44)	1,222	—	22 (1)	—
2021 - 1	123	57	66	—	—	—
2	118	108	10	—	—	—
3	371 (5)	260	111 (5)	—	—	—
4	5	5	—	—	—	—
5	506 (10)	363 (10)	143	—	—	—
6	178 (5)	134 (5)	45	—	—	—
7	266	197	70	—	—	—
8	244	119	125	—	—	—
9	389	263	126	—	—	—
10	219 (5)	82 (5)	137	—	—	—
11	323 (5)	193 (5)	129	—	—	—
12	322	96	226	—	—	—
2022 - 1	379 (8)	253 (8)	115	—	11	—
2	222 (5)	122 (5)	100	—	—	—
3	541	372	169	—	—	—
4	—	—	—	—	—	—
5	500	374	126	—	—	—
6	426 (10)	225 (10)	202	—	—	—
7	291	260	30	—	—	—
8	473 (5)	235 (5)	229	—	10	—
9	149	109	40	—	—	—
10	187 (5)	151 (5)	36	—	—	—
11	297 (5)	191 (5)	105	—	—	—
12	180 (6)	109 (5)	71	—	1 (1)	—
2023 - 1	271 (10)	117 (10)	154	—	—	—
2	179	111	68	—	—	—
3	295 (5)	253 (5)	40	—	1	—
4	—	—	—	—	—	—
5	460	231	229	—	1	—
6	221	170	—	50	1	—
7	218	120	87	—	10	—

資 料 : 財務省関税局

備考 : 1. kgを60kg俵単位に換算してあるので、国別の計と合計が一致しない場合がある。

2. () 書きは、玉糸の輸入数量で内数である。

Source : The Customs Bureau, Ministry of Finance.

Remarks : 1. Country volume may not add up the total volume due to round off.

2. Figures in parenthesis indicate the break down for doupion silk imports.

(16) 絹糸の原産国別輸入数量
Silk Yarn Imports

(単位：60kg俵)
(Unit: Bales of 60kg)

国名 Country		計 Total	中 国 China	ベトナム Vietnam	イタリア Italy	アメリカ USA	ブラジル Brazil	その他 Others
年 月 Year&Month								
暦 年 Calendar Year								
2015		14,051	7,928	5,586	4	0	531	2
2016		12,094	7,289	4,074	16	0	711	4
2017		14,560	8,431	5,256	10	0	862	0
2018		11,092	6,217	4,031	10	0	802	32
2019		10,920	6,658	3,489	16	—	757	1
2020		6,226	3,516	2,124	3	0	582	1
2021		6,136	3,472	2,217	2	0	442	3
2022		7,945	4,670	2,665	2	0	608	0
2021 -	1	428	227	145	—	—	55	—
	2	504	308	196	1	—	—	—
	3	339	241	73	—	0	26	—
	4	451	298	153	—	—	—	—
	5	460	226	144	—	—	90	—
	6	619	437	172	0	—	10	—
	7	772	311	461	—	—	—	—
	8	585	401	113	0	—	71	—
	9	433	207	195	—	—	30	0
	10	451	231	188	1	—	30	0
	11	480	318	134	—	—	25	3
	12	614	266	243	—	—	105	—
2022 -	1	588	353	220	—	—	15	—
	2	484	260	167	—	—	57	—
	3	667	463	173	—	0	30	—
	4	412	214	143	—	—	55	—
	5	857	438	342	—	—	76	—
	6	703	469	143	0	—	90	—
	7	893	554	284	—	0	56	—
	8	764	379	313	—	—	71	—
	9	688	455	207	—	—	25	—
	10	642	367	244	1	—	30	—
	11	739	430	218	0	—	92	—
	12	509	287	211	—	—	10	0
2023 -	1	650	364	185	—	—	101	—
	2	309	238	15	—	—	55	—
	3	705	537	143	—	—	25	—
	4	514	271	233	—	—	10	—
	5	742	371	217	1	—	154	—
	6	791	596	195	0	—	—	—
	7	578	290	238	—	—	51	—

資料：財務省関税局

備考：kgを60kg俵単位に換算してあるので、国別の計と合計が一致しない場合がある。

Source：The Customs Bureau, Ministry of Finance.

Remarks：Country volume may not add up the total volume due to round off.

(17) 生糸・絹糸の主要輸入国からの輸入数量と単価
Raw Silk and Silk Yarn Imports in Major Countries

単位：俵、円/kg
Unit: bale of 60kg, yen/kg

年 月 Year & Month	項 目 Item	輸入生糸（通関ベース） Raw Silk Imprt				輸入絹糸（通関ベース） Silk Yarn Import					
		中国 China		ブラジル Brazil		中国 China		ブラジル Brazil		ベトナム Vietnam	
		俵 bales	単価 a unit price	俵 bales	単価 a unit price	俵 bales	単価 a unit price	俵 bales	単価 a unit price	俵 bales	単価 a unit price
暦 年 Calendar Year											
2015		5,520	6,803	879	8,199	7,928	6,908	531	9,261	5,586	7,283
2016		5,334	5,614	1,134	6,164	7,289	5,764	711	6,654	4,074	5,946
2017		5,946	6,574	1,451	6,517	8,431	6,762	862	7,381	5,256	6,627
2018		3,438	7,973	1,441	7,857	6,217	8,090	802	8,551	4,031	7,754
2019		3,569	6,561	1,215	7,067	6,658	6,426	757	7,703	3,489	6,782
2020		1,269	6,243	1,140	6,587	3,516	6,415	582	7,441	2,124	6,627
2021		1,852	7,096	1,183	6,390	3,472	7,177	442	7,154	2,217	6,676
2022		2,358	8,878	1,222	9,124	4,670	9,496	608	10,387	2,665	9,557
2021 -	1	57	5,431	66	5,894	227	5,546	55	6,763	145	6,045
	2	108	5,577	10	4,033	308	5,835	—	—	196	5,911
	3	260	5,940	106	5,691	241	6,259	25	6,392	73	5,826
	4	5	6,397	—	—	298	6,330	—	—	153	5,845
	5	353	6,519	143	5,982	226	6,488	90	6,817	144	5,918
	6	129	7,127	45	6,258	437	7,156	10	6,827	172	6,630
	7	197	7,345	70	5,968	311	7,354	—	—	461	6,567
	8	119	7,962	125	6,079	401	7,456	71	6,982	113	7,099
	9	263	8,155	126	6,168	207	8,408	30	7,096	195	6,973
	10	77	7,150	137	6,783	231	8,145	30	7,546	188	7,387
	11	188	8,174	129	6,863	318	8,316	25	7,597	134	8,041
	12	96	8,390	226	7,167	266	8,736	105	7,773	243	7,395
2022 -	1	245	8,104	115	7,528	353	8,346	15	8,423	220	7,713
	2	117	8,382	100	7,700	260	8,633	57	8,411	167	7,716
	3	372	8,372	169	7,689	463	8,646	30	8,583	173	8,385
	4	—	—	—	—	214	8,871	55	8,822	143	9,048
	5	374	9,118	126	9,037	438	9,600	76	9,824	342	9,365
	6	215	8,889	202	9,132	469	10,100	90	9,885	143	9,583
	7	260	8,987	30	10,208	554	9,623	56	11,211	284	10,240
	8	230	8,956	229	10,064	379	9,575	71	11,292	313	9,986
	9	109	9,488	40	10,084	455	9,878	25	10,797	207	10,121
	10	146	9,383	36	11,078	367	10,105	30	12,240	244	10,547
	11	186	9,679	105	10,563	430	10,177	92	12,391	218	10,894
	12	104	8,966	71	10,104	287	9,633	10	11,374	211	9,908
2023 -	1	107	8,577	154	9,724	364	9,238	101	10,705	185	9,185
	2	111	9,322	68	9,899	238	9,001	55	11,256	15	11,271
	3	248	9,059	40	9,667	537	9,450	25	11,647	143	9,058
	4	—	—	—	—	271	9,490	10	11,069	233	9,072
	5	231	9,266	229	9,864	371	9,510	154	11,338	217	9,411
	6	170	9,259	—	—	596	9,872	—	—	195	10,033
	7	120	9,362	87	10,617	290	10,258	51	12,109	238	10,330

資料：財務省 通関統計による、単価はC I F価格である。

Source : The customs Bureau ,Ministry of Finance

Remarks : A unit price is CIF price.

(18) 絹織物生産数量

Production of Silk Fabrics

(単位：1,000㎡)
(Unit: 1,000sq. meters)

品 種 Type of Fabrics 年 月 Year & Month	総 数 Grand Total	絹・絹紡織物 Silk and Spun Silk Fabrics							
		広 巾 織 物 Double Width				小 巾 織 物 Single Width			その他の 後練(後染) Other Piece Dyed Silk Fabrics
		計 Total	羽二重類 Habutae	クレープ類 Crepe	先 練 (先染) Dyed Yarn	計 Total	ちりめん類 Silk crepe	先 練 (先染) Dyed Yarn	
暦 年 Calendar Year									
2015	2,316	1,228	664	35	529	630	283	347	458
2016	2,243	1,191	620	38	533	603	266	337	449
2017	2,195	1,185	639	50	497	587	272	315	422
2018	2,113	1,151	619	45	487	578	272	306	384
2019	1,939	1,128	583	43	502	521	242	279	290
2020	1,214	697	460	15	222	364	169	195	153
2021	1,319	840	587	9	244	336	128	208	143
2022	1,444	1,016	716	0	300	280	72	208	148
2021 - 1	90	56	38	1	18	25	9	16	9
2	95	59	40	1	18	26	10	16	9
3	98	57	43	1	13	30	10	19	12
4	106	64	50	0	13	29	11	17	14
5	109	71	48	1	22	27	11	16	11
6	123	79	51	0	28	29	11	18	14
7	109	69	52	1	16	29	10	19	10
8	97	58	46	0	12	27	10	17	11
9	111	70	53	1	15	29	11	18	13
10	118	75	54	1	20	28	11	17	14
11	131	89	54	1	34	29	11	18	13
12	133	93	57	1	35	29	11	17	11
2022 - 1	104	71	51	0	19	22	7	15	12
2	124	90	61	0	29	22	6	16	12
3	124	87	66	0	21	24	6	18	13
4	126	87	70	0	17	25	6	19	15
5	123	89	64	0	25	23	5	18	11
6	145	105	76	0	29	24	6	18	16
7	121	82	65	0	18	24	7	17	15
8	112	78	63	0	15	23	6	17	11
9	104	70	47	0	23	24	6	18	11
10	118	81	55	0	26	24	6	18	13
11	121	88	51	0	37	24	6	18	10
12	121	88	48	0	40	23	7	17	9
2023 - 1	106	75	52	0	23	23	7	16	8
2	99	65	45	0	20	23	6	17	12
3	104	63	48	0	15	25	7	18	16
4	112	73	54	0	19	25	7	18	14
5	113	77	48	0	29	24	7	17	12
6	110	72	47	0	25	25	7	18	12
7	100	63	45	0	18	25	8	17	11

資料：(一社)日本絹人織織物工業会(～2020.6) 経済産業省生産動態統計(2020.8～)

備考：1. 絹紡と交織を含む。単位以下四捨五入。

2. 絹織物生産数量の数量は2018年～2022年分までデータ補正がある。

Source：Japan Silk & Rayon Weaver's Association(～2020.6).

Ministry of Economy, Trade, and Industry, Current Production Statistics(2020.8～)

Remarks：1. Spun and mixed fabrics included. Fractions of 0.5 and over counted as a whole number and the rest disregarded.

2. As for the production quantity of silk fabrics, data in the year between 2018 and 2022 have been corrected.

(19) 丹後・長浜・西陣の絹織物生産数量
Production of Silk Fabrics in Tango , Nagahama and Nishijin

項 目 Item 年 月 Year & Month	絹織物生産数量 Silk Fabrics Production		丹 後 Tango (白生地) (White Fabrics)		長 浜 Nagahama (白生地) (White Fabrics)		西 陣 Nishijin (帯) (Sash)	
	数 量 Quantity (千㎡) (1,000㎡)	前年(月)比 Ratio to previous year	生産数量 Production (反) (Roll)	前年(月)比 Ratio to previous year	生産数量 Production (反) (Roll)	前年(月)比 Ratio to previous year	推定出荷数量 Estimated Shipments (本)	前年(月)比 Ratio to previous year
暦 年 Calendar Year								
2015	2,316	84.7	351,309	87.8	41,893	78.8	526,417	87.6
2016	2,243	96.8	310,271	88.3	38,063	90.9	488,144	92.7
2017	2,195	97.9	294,451	94.9	36,227	95.2	477,594	97.8
2018	2,113	96.3	282,158	95.8	36,316	100.2	426,796	89.4
2019	1,939	91.8	253,429	89.8	27,584	76.0	380,224	89.1
2020	1,214	62.6	154,333	60.9	10,852	39.3	260,360	68.5
2021	1,319	108.6	153,627	99.5	12,321	113.5	303,511	116.6
2022	1,444	109.5	158,982	103.5	11,988	97.3	281,796	94.4
2021 - 1	90	73.3	9,930	65.5	773	61.4	19,619	80.4
2	95	77.5	11,810	54.2	910	53.3	20,969	81.0
3	98	74.7	11,526	64.0	1,129	63.0	26,690	92.8
4	106	87.5	14,265	77.6	755	64.4	25,705	129.1
5	109	125.0	11,586	91.5	952	142.3	24,566	215.7
6	123	141.4	13,201	141.6	870	126.1	29,082	136.5
7	109	123.2	14,672	172.0	938	259.8	24,811	133.7
8	97	136.0	10,040	140.5	1,072	174.9	24,161	147.8
9	111	131.0	13,545	135.3	1,092	242.1	24,360	118.8
10	118	130.9	15,194	145.5	1,038	160.9	26,324	107.9
11	131	130.3	13,557	117.7	1,463	167.4	26,748	108.5
12	133	123.2	14,301	126.2	1,329	214.7	29,272	120.9
2022 - 1	104	115.2	10,399	104.7	983	127.2	22,277	113.5
2	124	131.2	12,746	107.9	982	107.9	20,744	98.4
3	124	126.9	12,376	107.4	863	76.4	25,113	93.8
4	126	118.8	14,948	104.8	1,111	147.2	26,693	101.3
5	123	113.2	11,207	96.7	1,127	118.4	22,216	89.5
6	145	118.2	14,645	110.9	1,237	142.2	26,282	90.4
7	121	111.3	14,540	99.1	996	106.2	22,233	91.3
8	112	115.8	11,938	118.9	939	87.6	20,915	86.3
9	104	93.7	13,993	103.3	845	77.4	24,163	98.3
10	118	100.1	14,932	98.3	1,109	106.8	23,440	88.9
11	121	92.7	13,737	101.3	961	65.7	23,932	89.5
12	121	91.2	13,521	94.5	835	62.8	22,127	91.4
2023 - 1	106	102.1	9,451	90.9	1,011	102.8	24,615	110.5
2	99	80.0	12,892	101.1	836	85.1	19,786	93.6
3	104	83.6	11,963	96.7	901	104.4	24,475	97.5
4	112	88.8	13,330	89.2	878	79.0	23,422	89.2
5	113	91.9	11,894	106.1	1,197	106.2	22,043	100.1
6	110	75.9	13,523	92.3	952	77.0	23,807	89.1
7	100	82.4	13,194	90.7	1,121	112.6	18,686	83.9
8			8,952	75.0	855	91.1		

資料 : 絹織物生産数量は(一社)日本絹人織織物工業会(～2020.6) 経済産業省生産動態統計(2020.8～)

主要3産地の生産量、出荷数量は各産地組合の発表による。

備考 : 1. 西陣は京都府織布生産動態調査数値の修正により前年比が合わない場合がある。

2. 2018年～2022年分までデータ補正がある。

Source : Japan Silk & Rayon Weaver's Association(～2020.6).

Ministry of Economy, Trade, and Industry, Current Production Statistics(2020.8～)

The numbers of Production and Shipments of 3major producing areas are reported by sheir local unions.

Remarks : 1. Ratio to previous year in Nishijin may become incorrect if there is a correction in the statistical survey on the production dynamics of woven fabrics in Kyoto prefecture.

2. The data in the year between 2018 and 2022 have been corrected.

蚕の一生



協力:シルク博物館

一般財団法人 大日本蚕糸会

— 資料・海外 —

(1)世界主要国の家蚕繭生産数量

Domesticated Silkworm Cocoon Production in Major Countries

区 分		2017年	2018年	2019年
		トン	トン	トン
日本	Japan	125	110	92
中国	China			
インド	India	161,684	185,560	185,143
ウズベキスタン	Uzbekistan			
イラン	Iran			
タイ	Thailand			
ブラジル	Brazil	2,995	3,024	3,034
ベトナム	Vietnam			
北朝鮮	North Korea			
トルコ	Turkey			
ブルガリア	Bulgaria			
インドネシア	Indonesia			
シリア	Syria			
主要国の計	Total	164,804	188,694	188,269

区 分		2020年	2021年	2022年
		トン	トン	トン
日本	Japan	80	62	51
中国	China			
インド	India	169,345	187,241	199,752
ウズベキスタン	Uzbekistan			
イラン	Iran			
タイ	Thailand			
ブラジル	Brazil			
ベトナム	Vietnam			
北朝鮮	North Korea			
トルコ	Turkey			
ブルガリア	Bulgaria			
インドネシア	Indonesia			
シリア	Syria			
主要国の計	Total	169,425	187,303	199,803

注 日本は(一財)大日本蚕糸会、中国は中国絲綢(シルク)協会、インドはインド繊維省中央蚕糸局(CSB)、ブラジルはブラジル製糸協会 (ABRASSEDA)の統計値をそれぞれ使用、それ以外の国は国際養蚕委員会 (ISC)及びFAOの統計値を使用し、2016年以降はデータが取れない。

Note Figures of China are based on the data of the China Silk Association.

Figures of India are based on the data of the Central Silk Board (CSB),Ministry ofTextiles in India.

Figures of Brazil are based on the data of the Brazil Filature Association(ABRASSEDA).

Others than these countries,based on the data of International Sericulture , however, there is no data available since 2016 Commission (ISC).

(3) 中国繭絲綢交易市場における各種シルク現物価格

Spot Price of Various Silk Goods

2023年5月 平均 (month average)

区分 (item)	商品名称 (goods name)	規格 (size)	価格幅(元/kg) (price range)	価格幅(円/kg) (price range)
1	乾繭(dried cocoon)	3A-4A	138.60 ~ 145.00	2,772 ~ 2,900
2	乾繭(dried cocoon)	5A-6A	153.00 ~ 168.40	3,060 ~ 3,368
3	玉繭(double cocoon)		114.00 ~ 132.00	2,280 ~ 2,640
4	キビソ(frison)	(自動機)automatic reel	144.00 ~ 179.00	2,880 ~ 3,580
5	生糸(raw silk)	21d、工場検査	425.60 ~ 452.20	8,512 ~ 9,044
6	生糸(raw silk)	21d、検驗局検査	435.60 ~ 460.00	8,712 ~ 9,200
7	生糸(raw silk)	42d、工場検査	436.80 ~ 452.00	8,736 ~ 9,040
8	玉糸(doupion silk)	110d	440.00 ~ 453.00	8,800 ~ 9,060
区分 (item)	商品名称 (goods name)	規格 (size)	価格幅(元/メートル) (price range)	価格幅(円/メートル) (price range)
9	羽二重(habutae)	56吋(inch)8匁(mom)	40.50 ~ 45.50	810 ~ 910
10	サテン(satin)	45吋(inch)16匁(mom)	60.50 ~ 66.00	1,210 ~ 1,320
11	クレープデシン(crepe de chine)	45吋(inch)13.5匁(mom)	50.10 ~ 54.50	1,002 ~ 1,090
12	クレープデシン(crepe de chine)	45吋(inch)12匁(mom)	43.00 ~ 47.50	860 ~ 950

注:1元=20円

1 CNY=20JPY

2023年6月 平均 (month average)

区分 (item)	商品名称 (goods name)	規格 (size)	価格幅(元/kg) (price range)	価格幅(円/kg) (price range)
1	乾繭(dried cocoon)	3A-4A	137.00 ~ 148.00	2,740 ~ 2,960
2	乾繭(dried cocoon)	5A-6A	157.00 ~ 177.50	3,140 ~ 3,550
3	玉繭(double cocoon)		114.75 ~ 132.75	2,295 ~ 2,655
4	キビソ(frison)	(自動機)automatic reel	143.25 ~ 179.00	2,865 ~ 3,580
5	生糸(raw silk)	21d、工場検査	435.75 ~ 457.75	8,715 ~ 9,155
6	生糸(raw silk)	21d、検驗局検査	445.75 ~ 464.00	8,915 ~ 9,280
7	生糸(raw silk)	42d、工場検査	442.00 ~ 455.00	8,840 ~ 9,100
8	玉糸(doupion silk)	110d	442.00 ~ 453.00	8,840 ~ 9,060
区分 (item)	商品名称 (goods name)	規格 (size)	価格幅(元/メートル) (price range)	価格幅(円/メートル) (price range)
9	羽二重(habutae)	56吋(inch)8匁(mom)	40.50 ~ 45.50	810 ~ 910
10	サテン(satin)	45吋(inch)16匁(mom)	60.50 ~ 66.00	1,210 ~ 1,320
11	クレープデシン(crepe de chine)	45吋(inch)13.5匁(mom)	50.00 ~ 54.50	1,000 ~ 1,090
12	クレープデシン(crepe de chine)	45吋(inch)12匁(mom)	43.00 ~ 47.50	860 ~ 950

注:1元=20円

1 CNY=20JPY

資 料:中国繭絲綢交易市場(浙江省、嘉興)発表

Source:China Silk Exchange(Zhejiang Sheng Jia Xing)

2023年7月 平均 (month average)

区分 (item)	商品名称 (goods name)	規格 (size)	価格幅(元/kg) (price range)	価格幅(円/kg) (price range)
1	乾繭(dried cocoon)	3A-4A	138.75 ~ 151.75	2,775 ~ 3,035
2	乾繭(dried cocoon)	5A-6A	161.00 ~ 181.75	3,220 ~ 3,635
3	玉繭(double cocoon)		115.50 ~ 133.63	2,310 ~ 2,673
4	キビソ(frison)	(自動機)automatic reel	150.00 ~ 180.50	3,000 ~ 3,610
5	生糸(raw silk)	21d、工場検査	447.50 ~ 467.50	8,950 ~ 9,350
6	生糸(raw silk)	21d、検驗局検査	457.50 ~ 472.50	9,150 ~ 9,450
7	生糸(raw silk)	42d、工場検査	449.25 ~ 465.25	8,985 ~ 9,305
8	玉糸(doupion silk)	110d	446.00 ~ 456.25	8,920 ~ 9,125
区分 (item)	商品名称 (goods name)	規格 (size)	価格幅(元/メートル) (price range)	価格幅(円/メートル) (price range)
9	羽二重(habutae)	56吋(inch)8匁(mom)	40.88 ~ 45.88	818 ~ 918
10	サテン(satin)	45吋(inch)16匁(mom)	60.88 ~ 66.38	1,218 ~ 1,328
11	クレープデシン(crepe de chine)	45吋(inch)13.5匁(mom)	50.38 ~ 54.88	1,008 ~ 1,098
12	クレープデシン(crepe de chine)	45吋(inch)12匁(mom)	43.38 ~ 47.88	868 ~ 958

注:1元=20円

1 CNY=20JPY

2023年8月 平均 (month average)

区分 (item)	商品名称 (goods name)	規格 (size)	価格幅(元/kg) (price range)	価格幅(円/kg) (price range)
1	乾繭(dried cocoon)	3A-4A	146.40 ~ 159.60	2,928 ~ 3,192
2	乾繭(dried cocoon)	5A-6A	167.20 ~ 188.00	3,344 ~ 3,760
3	玉繭(double cocoon)		118.30 ~ 136.80	2,366 ~ 2,736
4	キビソ(frison)	(自動機)automatic reel	152.60 ~ 182.20	3,052 ~ 3,644
5	生糸(raw silk)	21d、工場検査	464.00 ~ 482.80	9,280 ~ 9,656
6	生糸(raw silk)	21d、検驗局検査	467.40 ~ 491.40	9,348 ~ 9,828
7	生糸(raw silk)	42d、工場検査	463.20 ~ 482.40	9,264 ~ 9,648
8	玉糸(doupion silk)	110d	453.60 ~ 463.60	9,072 ~ 9,272
区分 (item)	商品名称 (goods name)	規格 (size)	価格幅(元/メートル) (price range)	価格幅(円/メートル) (price range)
9	羽二重(habutae)	56吋(inch)8匁(mom)	42.30 ~ 48.00	846 ~ 960
10	サテン(satin)	45吋(inch)16匁(mom)	62.10 ~ 67.60	1,242 ~ 1,352
11	クレープデシン(crepe de chine)	45吋(inch)13.5匁(mom)	52.60 ~ 57.30	1,052 ~ 1,146
12	クレープデシン(crepe de chine)	45吋(inch)12匁(mom)	45.30 ~ 49.90	906 ~ 998

注:1元=20円

1 CNY=20JPY

※「シルクレポート」の記事と統計データは、下記のホームページでもご覧になれます。

<https://silk.or.jp>

シルクレポート 2023 年 10 月号 No.79 令和 5 年 10 月 1 日発行

編集 / 発行

一般財団法人大日本蚕糸会

〒100-0006 東京都千代田区有楽町 1-9-4 蚕糸会館 6 階

TEL : 03-3214-3500

FAX : 03-3214-3415

URL : <https://silk.or.jp>

製本 / 印刷

株式会社正大印刷社

無断転載禁ず